

KAWAI

DIGITAL PIANO CA9900GP 取扱説明書

お読みください

準備

基本編

応用編

付録

JA

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

弊社電子楽器製品をお使いの際は、安全のため以下の注意事項を守った上でお使いください。
小さなお子様がいる場合は、保護者の管理のもと、安全にお使いください。

■製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または修理受付窓口およびお近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

■警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



電源は必ずAC100Vをお使いください。
電圧の異なる電源を使用すると故障や発火の恐れがあります。



付属の電源コードは、本機でのみ使用してください。
付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。
付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。
故障や発火の恐れがあります。



電源コードは、無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしないでください。
コードが破損し、発火、感電、故障の恐れがあります。



分解禁止

本機を分解、修理、改造しないでください。
発火、感電、故障の恐れがあります。



電源コードを抜く時は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
コード部分を持って引っ張るとコードが破損し、発火、感電、故障の恐れがあります。



落雷の恐れがある時や長時間使用しない時は、必ず電源コードを抜いてください。
発火、感電、故障の恐れがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取ってください。
発火、感電、故障の恐れがあります。



ぬれ手禁止

水に濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



水ぬれ禁止

製品を濡らさないでください。
水につけたり、こぼしたりすると感電、故障の恐れがあります。



異常が起こった時は、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。



下記のような場合は、故障している可能性がありますので、使用は控え、電源コードを外したままの状態弊社修理受付窓口にお問い合わせください。

- 1 製品の内部に異物が入ってしまった場合
- 2 水がかかって内部が濡れてしまった場合
- 3 製品や付属品の一部が異常に熱くなった場合
- 4 異常な臭いや煙が出た場合
- 5 鍵盤蓋の開閉動作に異常が発生した場合 など

⚠ 注意



電源プラグは、直ぐに抜くことができる状態にしておいてください。

この機器は、電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。

完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。

プラグは、直ぐに抜くことができる状態にしておいてください。



譜面台やペダルの下などの隙間に体の一部を入れないでください。

挟んだり擦ったりして怪我をする恐れがあります。



鍵盤蓋を開閉するときは、途中で手を離さないでください。

怪我をする恐れがあります。

開閉動作に異常が生じた場合、使用は控え弊社修理受付窓口にお問い合わせください。



製品に乗ったり、ぶら下がったり、押ししたりしないでください。

製品が倒れたり、壊れたりして怪我をする恐れがあります。



製品の周りで走り回らないでください。

ぶつかって怪我をする恐れがあります。



製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。

怪我をしたり破損したりする恐れがあります。



ヘッドホンは大音量で長時間使用しないでください。

聴力低下の原因になる恐れがあります。



製品や椅子の組み立て時は、組立説明を読んでから作業してください。

正しく組み立てないと落下、破損、怪我の恐れがあります。



製品や椅子の組立ネジは、ゆるみを定期的に点検し、必要に応じて締めなおしてください。

ゆるんだまま使用すると落下、破損、怪我の恐れがあります。



小さな部品はお子様の手の届かない場所で保管してください。

お子様が誤って飲み込んでしまう恐れがあります。



製品を移動する時は、複数の人で水平に持ち上げて動かしてください。

落として怪我をする恐れがあります。



椅子で遊んだり、踏み台にしたり、2人以上で座ったりしないでください。

怪我をする恐れがあります。



椅子の高さ調節は、椅子から降りて行ってください。

椅子が倒れたり、指を挟んだりして怪我をする恐れがあります。



製品使用場所の注意

以下の場所では、製品を使用しないでください。

- 1 製品がグラグラする不安定な場所
- 2 水がかかる場所
- 3 極端に温度の高い、もしくは低い場所
- 4 極端に湿度の高い、もしくは低い場所
- 5 窓際など直射日光の当たる場所
- 6 砂やホコリの多い場所
- 7 振動の多い場所



ディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。

傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは、指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、叩いたり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

はじめに

このたびはKAWAIデジタルピアノをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本機を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、本取扱説明書をよくお読みいただき、
保証書と共に大切に保管くださいますようお願いいたします。

■ 取扱説明書について

- ・ 本機をすぐお使いいただけるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。
- ・ 本書のディスプレイイラストや機能はバージョンによって実物と異なる場合がございます。

■ 銘板について

機種名、製造番号等の情報は、製品下部の銘板に記載されています。

■ お手入れについて

- ・ お手入れの際には電源を抜いてください。
- ・ 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・ ペダルの表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。ゴールドペダルは、布で拭くとかえって曇ってしまう場合があります。
- ・ ペダルが汚れた場合、サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
- ・ 色落ちや変形の原因となりますので、本機をベンジンやシンナーで拭かないでください。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、お買い求めいただいた販売店、もしくは修理受付窓口にご連絡ください。弊社修理受付窓口は本取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

■ 知的財産権について

- ・ Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- ・ Macは、Apple Inc.の登録商標です。
- ・ “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。
- ・ Qualcomm aptXはQualcomm Technologies International, Ltd.の製品です。Qualcommは、Qualcomm Incorporatedの米国ならびに他の国における登録商標であり、許可のもとに使用しています。aptXは、Qualcomm Technologies International, Ltd.の米国ならびに他の国における登録商標であり、許可のもとに使用しています。



- ・ その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、著作権法上、権利者に無断で個人的に又は家庭内その他これに準ずる範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

付属品 (お確かめください)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 保証書 | <input type="checkbox"/> ヘッドホン |
| <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) | <input type="checkbox"/> ヘッドホンフック |
| <input type="checkbox"/> カワイデジタルピアノ ユーザー登録のご案内 | <input type="checkbox"/> クラシカルピアノコレクション(楽譜集) |
| <input type="checkbox"/> 高低自在椅子 | |
| <input type="checkbox"/> 電源コード | |

目次

お読みください

安全上のご注意	2
はじめに	5
付属品(お確かめください)	5
目次	6
各部の機能と名称	8

準備

鍵盤蓋を開ける/閉める	10
譜面立てを使う	10
電源を入れる	11
音量を調整する	12
ヘッドホン/ヘッドホンフックを使う	12
ペダルを使う	13
画面の名称とはたらき	14
1 ホーム画面の構成	14
2 基本操作	15

基本編

ピアノを演奏する(ピアノタブ)	16
1 ピアノタブ画面の構成	16
2 ピアノエディター	18
① ピアノバリエーション	18
② コンサートチューナー	20
③ アンビエンス	21
④ リバーブ	22
⑤ チューニング	23
⑥ トランスポーズ	23
⑦ お気に入り登録	23
⑧ メニュー	23
色々な楽器を演奏する(サウンドタブ)	24
1 サウンドタブ画面の構成	24
2 サウンドエディター	26
① メイン音色	26
② サブ音色	27
③ コンサートチューナー(ピアノ音色のみ)	29
④ リバーブ	29

⑤ エフェクト	30
⑥ チューニング	32
⑦ トランスポーズ	32
⑧ その他の音色設定(ピアノ音色以外)	32
⑨ お気に入り登録	32
⑩ メニュー	33

曲を楽しむ(ミュージックタブ)

1 ミュージックタブ画面の構成	34
2 プレイヤー画面の構成	36
3 プレイヤー画面からできること	38
① プレイヤー	38
② レッスンモード(本体内存曲のみ)	38
③ コンサートマジックモード (本体内存曲のみ)	40

メトロノームを使う

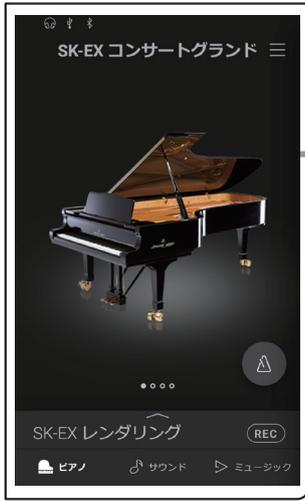
演奏を録音する(レコーダー)

① 録音する	46
② レコーダーメニュー	50

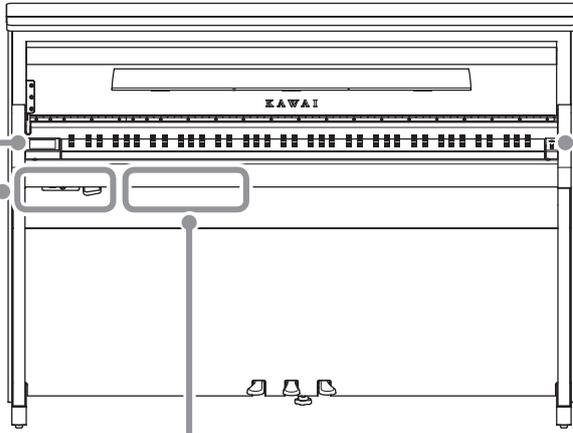
応用編

コンサートチューナー	52
① タッチカーブ	53
② ボイシング	53
③ レゾナンスデプス	54
④ ダンパーレゾナンス	54
⑤ ダンパーノイズ	54
⑥ スtringレゾナンス	55
⑦ 開放弦レゾナンス	55
⑧ キャビネットレゾナンス	56
⑨ キーオフエフェクト	56
⑩ キーアクションノイズ	56
⑪ ハンマーノイズ	56
⑫ ハンマーディレイ	57
⑬ 大屋根開閉	57
⑭ ディケイタイム	57
⑮ リリースタイム	57
⑯ ミニマムタッチ	58
⑰ ストレッチチューニング	58
⑱ 音律	58

各部の機能と名称

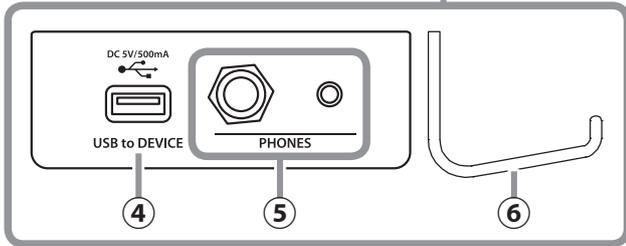
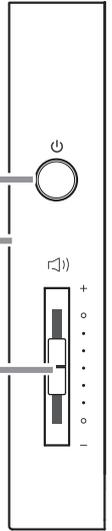


3



1

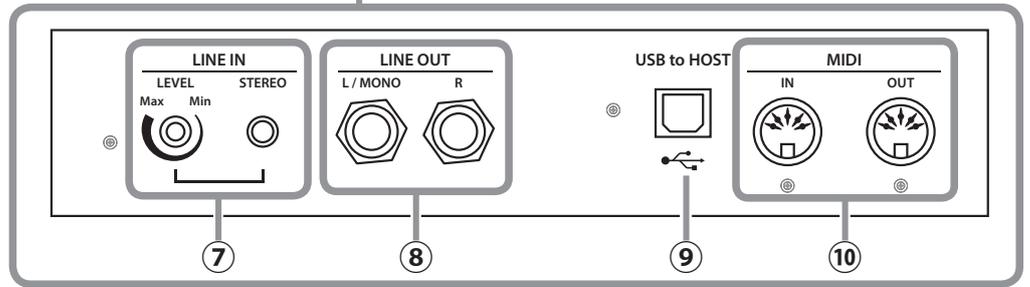
2



4

5

6

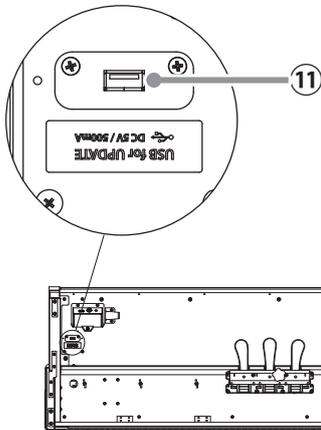


7

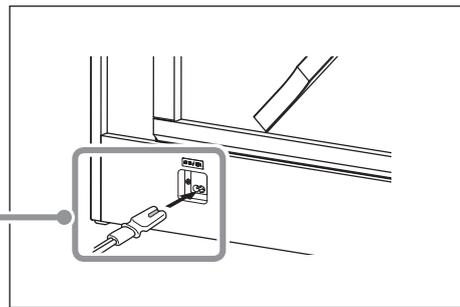
8

9

10



11



12

お読みください

① パワー [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

② マスター ボリューム [MASTER VOLUME] スライダー

内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

③ ディスプレイ/タッチパネル

画面に表示されるアイコンやボタンで機能を選択したり、それぞれの機能を設定します。

また、選ばれている音色名やUSBメモリやBluetoothの接続など、設定の状態を表示します。

④ ユーエスビートゥー デバイス [USB TO DEVICE] 端子

USBメモリを接続する端子です。

⑤ ホーンズ [PHONES] 端子

ステレオのヘッドホンを接続する端子です。
ミニステレオプラグのヘッドホンとステレオ標準プラグのヘッドホンを同時に接続できます。

⑥ ヘッドホンフック

ヘッドホンを使用しないとき、ここへ掛けてください。

⑦ ライン イン [LINE IN] 端子

他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続し、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

⑧ ライン アウト [LINE OUT] 端子

本機の音を他の外部機器と接続したり、オーディオ機器に録音等する場合に使用する出力端子です。

⑨ ユーエスビートゥー ホスト [USB TO HOST] 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信できます。

⑩ ミディ イン アウト [MIDI IN/OUT] 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

⑪ ユーエスビー フォー アップデート [USB for UPDATE] 端子

タッチパネルのアップデートに使用するUSBメモリを接続する端子です。

⑫ エーシー インレット [AC INLET] 端子

電源コードを接続する端子です。

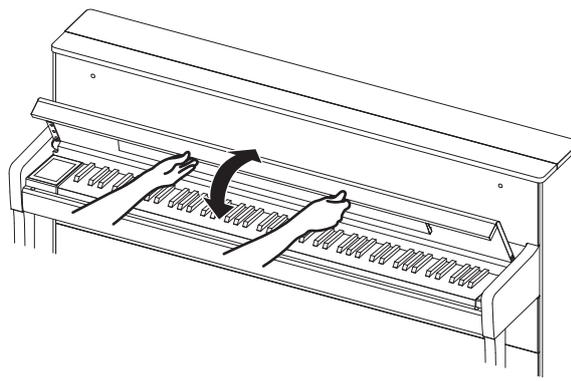
鍵盤蓋を開ける/閉める

鍵盤蓋を開ける

鍵盤蓋に両手を掛け、静かに持ち上げます。

鍵盤蓋を閉める

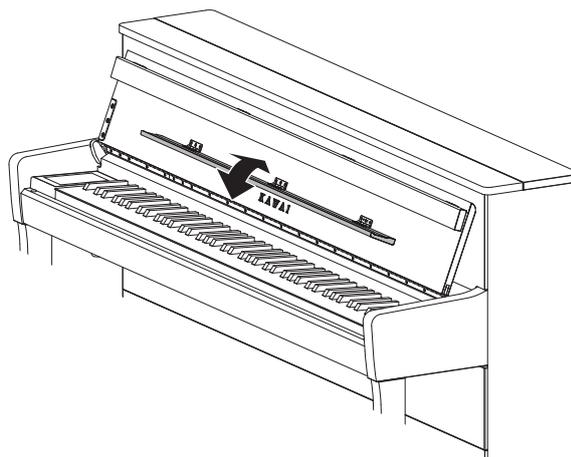
鍵盤蓋に両手を掛けて静かに下ろします。



- 鍵盤蓋を開けるとき、鍵盤蓋の上にものを置かないでください。本体内部にもものが落ち、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。
- 鍵盤蓋と本体の間に手や指を挟まないようご注意ください。
- 譜面立てを倒したまま鍵盤蓋を閉めると譜面立てや鍵盤が破損する恐れがあります。譜面立てをたたんでから鍵盤蓋を閉めてください。
- 鍵盤蓋にはスローダウン機構が搭載されており、ゆっくり閉まるよう設計されています。ただし、鍵盤蓋が少ししか開いていない状態からだとこのスローダウンの効果がありません。そのため鍵盤蓋の開閉時は途中で手を離さないでください。

譜面立てを使う

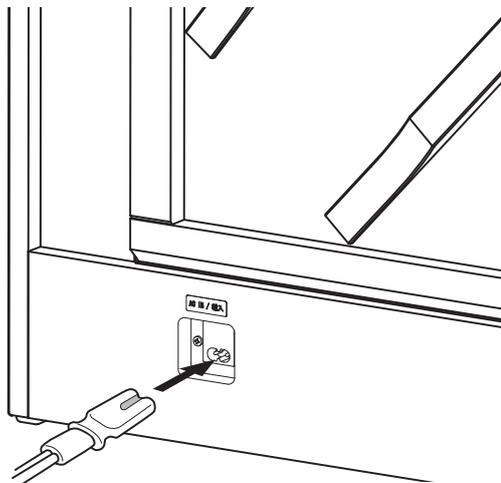
譜面立てを手前に倒して使用します。



電源を入れる

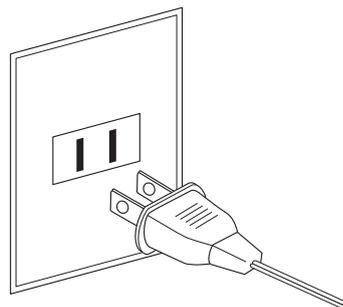
1. 電源コードを本体に接続する

付属の電源コードを、本体裏下部の[AC INLET]端子に差し込みます。



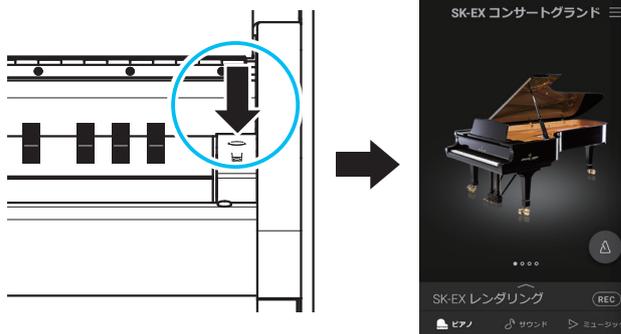
2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。



3. 電源を入れる

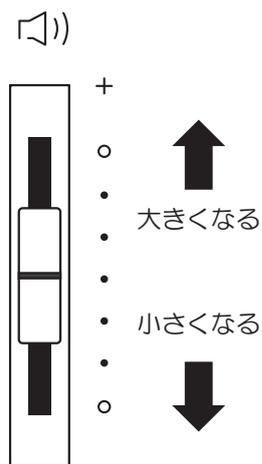
[POWER]スイッチを押して電源をオンにします。
ディスプレイに「KAWAI」と表示され、起動が始まります。
起動すると右図の画面になります。
起動が終わるまでは電源を切らないでください。
電源を切るときは、もう一度[POWER]スイッチを少し長押しし、画面の表示を消します。



音量を調整する

本体右にある[MASTER VOLUME]スライダーで音量を調整します。上側に動かすと音量が大きくなり、下側に動かすと小さくなります。

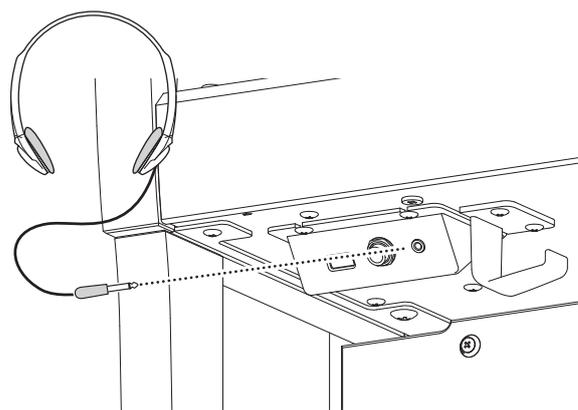
実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。



ヘッドホン/ヘッドホンフックを使う

○ ヘッドホンを使う

ヘッドホンを[PHONES]端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



○ ヘッドホンの接続状態を確認する

ヘッドホンが本機に差し込まれている場合、ディスプレイ上部にヘッドホンアイコンが表示されます。



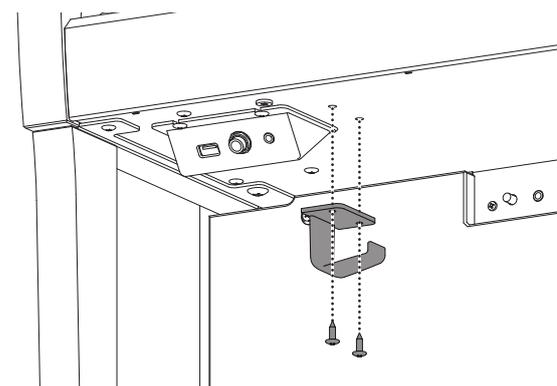
ヘッドホンが接続されている状態

○ ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。



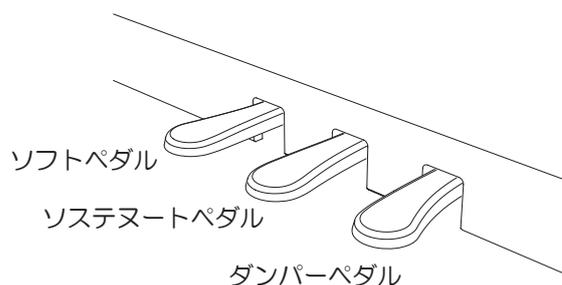
ヘッドホンフックには、ヘッドホン以外の物をかけないでください。破損の恐れがあります。



ペダルを使う

○ ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。



■ ダンパーペダル(右のペダル)

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響きます。踏み具合により余韻の長さを調節することができます (ハーフペダル対応)。

■ ソステヌートペダル(中央のペダル)

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常どおり発音します。

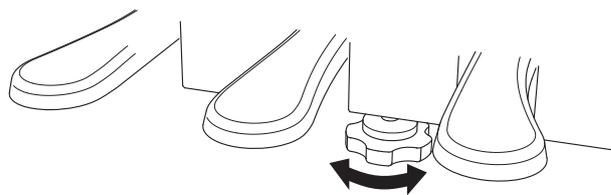
■ ソフトペダル(左のペダル)

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。エフェクトでロータリーが選ばれているときは、踏むたびにスピード (Slow / Fast) が切り替わります。踏み具合によりソフトペダルの効果を調節することができます。

※音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

○ アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床にぴったりついた状態でご使用ください。



○ グランド・フィール・ペダル・システムについて

本機のペダルにはグランド・フィール・ペダル・システムが搭載されています。従来のペダルより荷重が重く、3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノSK-EXに近い踏み心地となっています。

画面の名称とはたらき

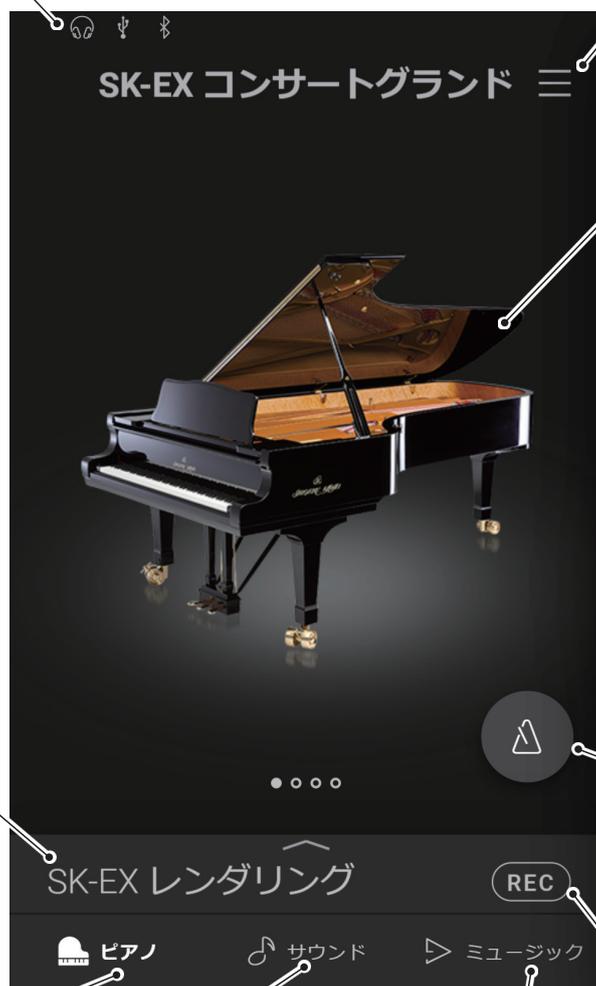
1 ホーム画面の構成

本機のディスプレイはお客様の使用シーンに合わせてピアノタブ/サウンドタブ/ミュージックタブという3つの画面で構成されています。各ホーム画面共通の名称とはたらきは次のとおりです。

ステータスバー

外部機器の接続状態や機能のオン/オフの状態を表示します。

アイコン	説明
 (ヘッドホンアイコン)	ヘッドホンが接続されているときに表示されます。
 (USBアイコン)	[USB to DEVICE] 端子にUSBメモリが接続されているときに表示されます。
 (Bluetoothアイコン)	Bluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオがオンのときに表示されます。



選択コンテンツバー

選択コンテンツバーは各タブ内で選択したコンテンツ(音色や楽曲)の名称を表示します。タップすると詳細画面が開き、選択中のコンテンツの詳細情報を確認したり、設定を変更することができます。

ピアノタブ 参照 P. 16

SK-EXを含むグランドピアノやアップライトピアノ等、アコースティックピアノの音色に特化しており、本格的なピアノ音色で演奏できます。

サウンドタブ 参照 P. 24

ピアノ以外の様々な音色を選んだり、2つの音色を重ねたり、効果を加えたり等、デジタルピアノならではの音色をお楽しみいただけます。

ミュージックタブ 参照 P. 34

電子ピアノに内蔵されている豊富な内蔵曲を聴いたり、録音した曲、USBメモリに保存した曲を聞くことができます。

メニュー 参照 P. 61

演奏や本体の設定、外部機器との接続など様々な設定を行うことができます。

コンテンツ選択エリア

音色や内蔵曲を選択するエリアです。

MEMO

画面下部のタブを切り替えると、以下のようにコンテンツの内容が変わります。

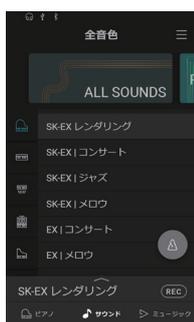
起動時にお好みのタブがホーム画面となるように設定することもできます。

参照 起動画面 P. 71

ピアノ選択時



サウンド選択時



ミュージック選択時



メトロノーム 参照 P. 42

ボタンをタップしてメトロノームのオン/オフを切り替えます。

-  (青色)：メトロノームが発音している状態です。
-  (灰色)：メトロノームがオフになっています。

レコーダー 参照 P. 44

ボタンをタップしてレコーダーの状態を切り替えます。

-  (通常時)：通常の状態です。
-  (スタンバイ)：タップする、または演奏を始めると録音が始まります。
-  (録音)：録音が始まっています。

2 基本操作

○ タップ



画面に表示されるアイコンやボタンに触れてすぐ放す操作です。

本書では **タップ**  と表示します。

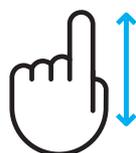
○ スワイプ



画面に触れて特定の方向にスライドさせる操作です。

本書では **スワイプ**  と表示します。

○ スクロール



画面に触れてスワイプし、画面を上下に移動させる操作です。

本書では **スクロール**  と表示します。

○ ドラッグ



アイコンやボタンなどを押したまま移動させる操作です。

本書では **ドラッグ**  と表示します。

ピアノを演奏する(ピアノタブ)

1 ピアノタブ画面の構成

ピアノセレクション



選択されている音色名と画像が表示されます。スワイプして音色を変更します。

音色名	特徴
SK-EX コンサートグランド	カワイ最高峰のフルコンサートグランドピアノSK-EX。輝きのあるクリアな音色、豊潤な低音が特長です。
EX コンサートグランド	ピアノコンクールで活躍してきたフルコンサートグランドピアノ。華麗さと品格に満ちた流麗な音色が特長です。
SK-5 グランドピアノ	中型のグランドピアノ。豊かで深みのある低音と、エレガントで艶やかな音色、粒立ち良い音の立ち上がりが特長です。
アップライトピアノ	馴染み深いアップライトピアノ音色です。

選択コンテンツバー



選択コンテンツバーには現在選択中の音色名が表示されます。選択コンテンツバーをタップするとピアノエディター画面が開き、選択音色の詳細設定を行うことができます。

■ピアノエディター

ピアノエディターではピアノ音色に関する様々な詳細設定ができます。

機能名	説明	参照
ピアノバリエーション	ピアノセレクションで選択したピアノのバリエーション音色を選択できます。	P. 18
コンサートチューナー	アコースティックピアノの調律師が行う作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整できる機能です。	P. 20
アンビエンス (SK-EX レンダリングでのみ 設定可能)	音の広がり、空気感を調節する機能です。	P. 21
リバーブ (SK-EX レンダリング以外で 設定可能)	音に残響効果を加え、ホールなどで演奏しているような深みのある美しい響きを作る機能です。	P. 22
チューニング	音のピッチ(音程)を調整することができます。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。	P. 23
トランスポーズ	弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。	P. 23
メニュー	音色の保存、メトロノーム表示、レコーダーの表示ができます。	P. 23





メニュー



アイコンをタップしてメニューを開きます。

参照 | メニュー詳細 P.61

メトロノーム



ボタンをタップしてメトロノームのオン/オフを切り替えます。

 (青色)：メトロノームが発音している状態です。

 (灰色)：メトロノームがオフになっています。

参照 | メトロノーム詳細 P.42

レコーダー



ボタンをタップしてレコーダーの状態を切り替えます。

•  (通常時)：通常の状態です。

•  (スタンバイ)：タップする、または演奏を始めると録音が始まります。

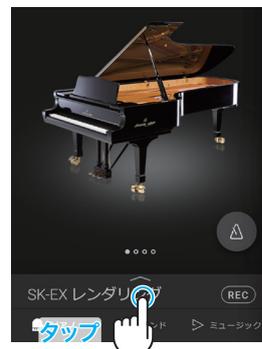
•  (録音)：録音が始まっています。

参照 | レコーダー詳細 P.44

2 ピアノエディター

ピアノタブ画面で選択コンテンツバーをタップするとピアノエディター画面が開き、ピアノの音色に関する様々な詳細設定を行うことができます。

エディター画面下部の ボタンをタップするとピアノタブ画面に戻ります。



① ピアノバリエーション

ピアノバリエーション項目から をタップしてピアノ音色を変更します。

CHECK

ピアノバリエーションで「SK-EX レンダリング」が選択されている場合のみレンダリングタイプが表示されます。



■ SK-EX コンサートグランド

ピアノバリエーション	レンダリングタイプ	説明
SK-EX レンダリング	クラシック	ダイナミックレンジが広く響きの豊かなピアノサウンドです。
	クラシック2	艶やかで華やかなピアノサウンドです。
	ロマンティック	ソフトなハンマーによるメロウなピアノサウンドです。
	ストロング	明るく低音の充実した大きなサイズのピアノサウンドです。
	ジャズ	クリーンでジャズに適したピアノサウンドです。
	ブリリアント	高域成分が強調されたブライトなピアノサウンドです。
	リッチ	共鳴を強調したリッチなピアノサウンドです。
	バラッド	クリアでライトポップなピアノサウンドです。
	ビンテージ	古いピアノを模したやわらかなピアノサウンドです。
	ブギー	調律をずらした小さなサイズのピアノサウンドです。
コンサート	—	ダイナミックレンジの広い標準的なピアノサウンドです。
ジャズ	—	太くてクリアな音色が特長です。
ウォーム	—	ソフトで暖かいグランドピアノの音色です。

MEMO レンダリングとは

グランドピアノの音が発生するメカニズムは、様々な要素で構成されています。その要素のひとつひとつをサンプリングやモデリング等の信号処理技術を用いて再構成し、パラメータを最適に調整し組み合わせることで様々な種類のピアノを再現するのがレンダリングです。

■ EX コンサートグランド

ピアノバリエーション	説明
コンサート	華やかで流麗なピアノ音色です。
ウォーム	ソフトで暖かいグランドピアノの音色です。
スタンダード	輪郭のはっきりした明るいピアノの音色です。
ポップグランド	明るく力強いピアノの音色です。
ポップピアノ	アタックに特徴がある明るく刺激的な音色です。
ニューエイジ	クリアーで透明感のある音色です。
モダン	抜けの良いバンド演奏に合うピアノです。

■ SK-5 グランドピアノ

ピアノバリエーション	説明
クラシック	艶やかな音色、粒立ち良い音の立ち上がりが特長です。
ジャズ	太くてクリアな音色が特長です。
ポップ	力強くはっきりした音色でポップス曲に最適です。

■ アップライトピアノ

ピアノバリエーション	説明
クラシック	ノスタルジックな印象を醸し出す深みのあるピアノの音色です。
ブギー	太くて明るいピアノの音色です。
ホンキートンク	調律をずらした明るいピアノの音色です。

ピアノを演奏する(ピアノタブ)

② コンサートチューナー

コンサートチューナー項目から〈〉をタップしてプリセットを変更します。



☑ CHECK

ピアノバリエーションで「SK-EX レンダリング」が選択されているとき、コンサートチューナーのプリセットは表示されません。

■ コンサートチューナーのプリセット

プリセット	説明
デフォルト	標準の設定です。
ノーノイズ	ダンパーペダルを踏んだときの「シャーン」という音や、鍵盤を離したときの「ゴト」という音を消した設定です。
ディープレゾナンス	ダンパーペダルを踏みながら音を出したときの響きや、弦の共鳴等をより深くした設定です。
レスレゾナンス	ダンパーペダルを踏みながら音を出したときの響きや、弦の共鳴等を抑えた設定です。
ソフト	ハンマーを柔らかく調整し、鍵盤のタッチを重めにする事で響きをソフトにした設定です。落ち着いた曲や静かな曲に適しています。
ブリリアント	ハンマーを固めに調整し、ダンパーやピアノ本体等の響きを明るくした設定です。明るく華やかな曲、よく響かせたい曲に適しています。
クリーン	ハンマーを固めに調整し、鍵盤のタッチを軽くすることで響きをすっきりとさせた設定です。
ストロング	ハンマーの反応を強めて、各種ノイズや響きを強めにした設定です。抑揚のあるダイナミックな曲に適しています。
グルーミー	ハンマーを固めに調整し、鍵盤のタッチを重くすることで独特な薄暗い響きを持たせた設定です。
リッチ	ハンマーの反応を強めて鍵盤を軽めにし、響きを豊かにした設定です。
ヒストリカル	「古典派」から「ロマン派」にかけての時代に使われたピアノを再現した設定です。
ユーザー	上記のプリセット以外の設定を詳細編集画面でお客様が設定した場合に選択されます。

[編集] ボタンをタップして詳細設定に入ると、コンサートチューナーの各項目を調節できます。

☞ 参照 コンサートチューナー詳細設定 P.52



③ アンビエンス

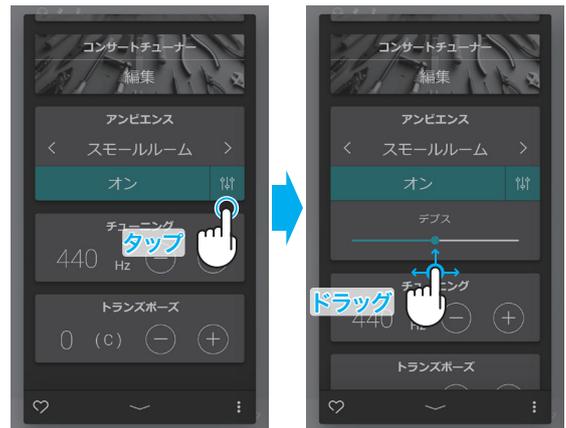
1. アンビエンス項目で[オン/オフ]ボタンをタップしてアンビエンスのオン/オフを切り替えます。



2. < > をタップして、アンビエンスのタイプを変更します。



3. 音量アイコンをタップするとデプスの変更ができます。
 ● (スライダー) を右に動かすとアンビエンスのかかり具合が大きくなり、左に動かすと小さくなります。



☑ CHECK

ピアノバリエーションで「SK-EX レンダリング」が選択されている場合のみアンビエンスが表示されます。

■ アンビエンスのタイプ

タイプ	説明
ナチュラル	自然な広がりを再現した効果です。
スモールルーム	小さな部屋の余韻を再現した効果です。
ミディアムルーム	やや大きな部屋の余韻を再現した効果です。
ラージルーム	大きな部屋の余韻を再現した効果です。
メロウラウンジ	落ち着いたラウンジの柔らかな余韻を再現した効果です。
ブライトラウンジ	ラウンジの明るい余韻を再現した効果です。
スタジオ	レコーディングスタジオの余韻を再現した効果です。
ウッドスタジオ	木製のレコーディングスタジオを再現した効果です。
ライブステージ	ステージでの反射を再現した効果です。
エコー	やまびこの様な反射を再現した効果です。

ピアノを演奏する(ピアノタブ)

④ リバーブ

1. リバーブ項目で[オン/オフ]ボタンをタップしてリバーブのオン/オフを切り替えます。



2. < > をタップして、リバーブのタイプを変更します。



3. 歯車アイコンをタップするとタイムとデプスの変更ができます。
- ・タイムの滑り台(スライダー)を右に動かすとリバーブの残響時間が長くなり、左に動かすと短くなります。
 - ・デプスの滑り台(スライダー)を右に動かすとリバーブのかかり具合が大きくなり、左に動かすと小さくなります。

☑ CHECK

ピアノバリエーションで「SK-EX レンダリング」以外が選択されている場合のみリバーブが表示されます。



■ リバーブのタイプ

タイプ	説明
ルーム	室内での演奏時の残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの演奏時の残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
ライブホール	ホールライブ向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での演奏時の残響を再現した効果です。

⑤ チューニング

チューニング項目で[+] [-]ボタンをタップして値を変更します。

値は427.0~453.0(Hz)の間で、0.5(Hz)ずつ変更できます。



⑥ トランスポーズ

トランスポーズ項目で[+] [-]ボタンをタップしてキーを変更します。

キーは-12~12の間で、半音ずつ変更できます。



⑦ お気に入り登録

●をタップすると表示が♡になり、サウンドタブ内の「お気に入り」カテゴリーに追加されます。



⑧ メニュー

⋮ (メニューボタン)をタップすると以下の項目がポップアップ表示されます。

・現在の音色を保存する

現在の音色設定をユーザー音色として、サウンドタブ内「ユーザー」カテゴリーに保存することができます。ディスプレイに表示されるダイアログに従って操作してください。

・レコーダー画面を表示

レコーダー画面を表示します。
レコーダーを録音停止状態にしたまま、レコーダー画面を表示したい場合はこの操作を行います。

[参照] レコーダー画面 P.45

・メトロノーム画面を表示

メトロノーム画面を表示します。
メトロノームをオフ状態にしたまま、メトロノーム画面を表示したい場合はこの操作を行います。

[参照] メトロノーム画面 P.42



ポップアップ画面の領域外をタップするとエディター画面に戻ります。

色々な楽器を演奏する(サウンドタブ)

1 サウンドタブ画面の構成

音色リスト



選択したカテゴリーに分類されている音色の一覧がリスト形式で表示されます。

参照 音色一覧 P.75

楽器タイプ(「全音色」カテゴリーのみ)



アイコンをタップするとその楽器に分類された音色を選択できます。

選択コンテンツバー



選択コンテンツバーには現在選択中の音色名が表示されます。選択コンテンツバーをタップするとサウンドエディター画面が開き、選択音色の詳細設定を行うことができます。

■ サウンドエディター

サウンドエディターではサウンド音色に関する様々な詳細設定ができます。

機能名	説明	参照
メイン音色	2つの音色を重ね合わせるデュアル演奏や鍵盤を2つに分けて演奏するスプリットなどの演奏時に、メイン音色に選択されている音色を表示します。	P. 26
サブ音色	サブ音色の設定状況や選択されている音色を表示します。	P. 27
コンサートチューナー	アコースティックピアノの調律師が行う作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整できる機能です。(ピアノ音色のみ)	P. 29
リバーブ	音に残響効果を加え、ホールなどで演奏しているような深みのある美しい響きを作る機能です。各音色はあらかじめ最適なリバーブが設定されています。	P. 29
エフェクト	リバーブ以外にも音に様々な効果を加えることができます。	P. 30
チューニング	合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。	P. 32
トランスポーズ	弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。	P. 32
その他の音色設定	ピアノ音色以外の音色の詳細設定項目です。	P. 32
メニュー	音色の保存、メトロノーム表示、レコーダーの表示ができます。	P. 33

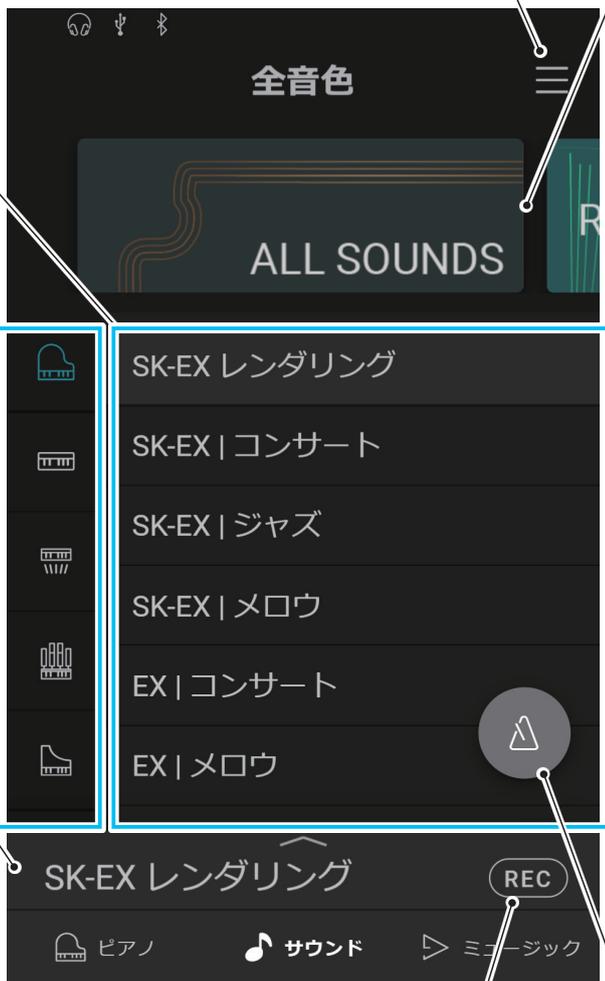


メニュー



アイコンをタップしてメニューを開きます。

参照 メニュー詳細 P.61



レコーダー



ボタンをタップしてレコーダーの状態を切り替えます。

- **REC** (通常時)：通常の状態です。
- **REC** (スタンバイ)：タップする、または演奏を始めると録音が始まります。
- **REC** (録音)：録音が始まっています。

参照 レコーダー詳細 P.44

カテゴリーセレクトエリア



様々な音色がカテゴリーごとに分類されており、画像をスワイプしてカテゴリーを変更します。

カテゴリー一覧	内容
全音色	全ての内蔵音色から選択できます。
ユーザー	ピアノおよびサウンドエディターで保存した音色が選択できます。
お気に入り	ピアノおよびサウンドエディターでお気に入り登録をした音色が選択できます。
最近演奏した音色	過去に選択した音色から選択できます。
ピアノスタイルコレクション	様々なピアノスタイルに適した音色を選択できます。
おすすめ音色	カワイおすすめの色から選択できます。
クラシック	クラシックの演奏に適した音色を選択できます。
ジャズ	ジャズの演奏に適した音色を選択できます。
ポップ	ポップの演奏に適した音色を選択できます。
アンサンブル	おすすめのアンサンブル音色を選択できます。
ヒストリカル	歴史を感じさせるレガシーな音色を選択できます。
リラックス	癒しのヒーリング音色を選択できます。

CHECK

「お気に入り」、「最近演奏した音色」、「ユーザー」カテゴリーは音色が選択された場合のみ表示されます。

メトロノーム



ボタンをタップしてメトロノームのオン/オフを切り替えます。

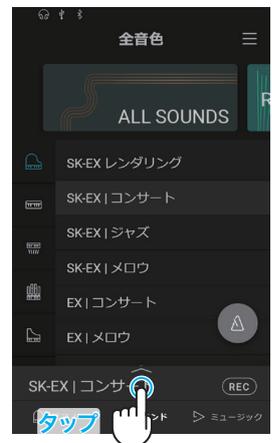
- (青色)：メトロノームが発音している状態です。
- (灰色)：メトロノームがオフになっています。

参照 メトロノーム詳細 P.42

2 サウンドエディター

サウンドタブ画面で選択コンテンツバーをタップするとサウンドエディター画面が開き、サウンド音色に関する様々な詳細設定を行うことができます。

エディター画面下部の  ボタンをタップするとサウンドタブ画面に戻ります。



① メイン音色

1. メイン音色項目で楽器アイコンをスワイプしてカテゴリを変更し、タップしてカテゴリを選択します。



2.   をタップして楽器カテゴリ内で音色を変更します。

 参照 音色一覧 P.75



CHECK

- ・ サブ音色で「スプリット」が選択されている場合、高音側のパートがメイン音色となります。
- ・ SK-EXレンダリング音色を選択している場合デュアルモード、スプリットモードは利用できません。

② サブ音色

サブ音色を設定することでデュアル演奏やスプリット演奏ができます。

■ デュアルモード

2つの音色を重ね合わせて演奏できます。2つの音色を同時に発音させてメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

1. サブ音色項目で[デュアル]ボタンをタップします。



2. 楽器アイコンをスワイプしてカテゴリーを変更し、タップしてカテゴリーを選択します。



3. <>をタップして楽器カテゴリー内で音色を変更します。



デュアル演奏では以下の設定を変更できます。

• バランス

2つの音色の音量バランスを設定できます。

● (スライダー)を右に動かすとメイン音色の音量が大きくなり、左に動かすと小さくなります。

• オクターブシフト

サブ音色の音域をオクターブ単位で移動します。

[+][−]ボタンをタップしてオクターブを変更します。オクターブは-2~2の間で、1オクターブずつ変更できます。

• ダイナミクス

サブ音色のタッチ変化の仕方を調整します。

● (スライダー)を右に動かすとサブ音色のタッチ変化が大きくなり、左に動かすと小さくなります。



色々な楽器を演奏する(サウンドタブ)

■ スプリットモード

鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定して演奏できます。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりできます。

1. サブ音色項目で[スプリット]ボタンをタップします。



2. 楽器アイコンをスワイプしてカテゴリを変更し、タップしてカテゴリを選択します。



3. < >をタップして楽器カテゴリ内で音色を変更します。



スプリット演奏では以下の設定を変更できます。

• バランス

2つの音色の音量バランスを設定できます。

● (スライダー)を右に動かすとメイン音色の音量が大きくなり、左に動かすと小さくなります。

• スプリットポイント

[+] [-]ボタンをタップして低音側と高音側の鍵盤が分かれる位置を変更できます。

• オクターブシフト

サブ音色の音域をオクターブ単位で移動します。

[+] [-]ボタンをタップしてオクターブを変更します。オクターブは0~3の間で、1オクターブずつ変更できます。

• ローペダル

スプリットモードでペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定します。

オンにすると、ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。オフにすると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

CHECK

高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。



③ コンサートチューナー(ピアノ音色のみ)

音色編集項目から〈〉をタップしてプリセットを変更することができます。

[編集] ボタンをタップして詳細設定に入ると、音色編集の各項目を調節できます。

参照 コンサートチューナー詳細設定 P.52

コンサートチューナーのプリセット P.20

④ リバース

1. リバース項目で[オン/オフ]ボタンをタップしてリバースのオン/オフを切り替えます。

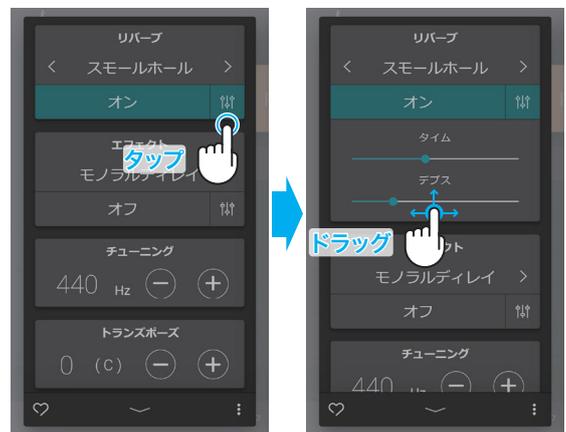


2. 〈〉をタップしてタイプを変更します。



3. 歯車をタップするとタイムとデプスの変更ができます。

- ・タイムの滑り台(スライダー)を右に動かすとリバースの残響時間が長くなり、左に動かすと短くなります。
- ・デプスの滑り台(スライダー)を右に動かすとリバースのかかり具合が大きくなり、左に動かすと小さくなります。



☑ CHECK

「SK-EX レンダリング」以外が選択されている場合のみリバース項目が表示されます。

■ リバースのタイプ

タイプ	説明
ルーム	室内での演奏時の残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの演奏時の残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
ライブホール	ホールライブ向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での演奏時の残響を再現した効果です。

色々な楽器を演奏する(サウンドタブ)

⑤ エフェクト

1. エフェクト項目で[オン/オフ]ボタンをタップしてエフェクトのオン/オフを切り替えます。



2. < > をタップしてタイプを変更します。



3. 音量アイコンをタップすると変更できるパラメーターが表示されます。
(選択したエフェクトによって設定値と効果は異なります。)

それぞれ—●—(スライダー)を左右に動かして値を変更します。

参照 各エフェクトの変更項目と効果 P.31



■エフェクトのタイプ

タイプ	説明
モノラルディレイ	音に山びこのような反響音を加える効果です。
ピンポンディレイ	音が左右交互に反響する効果です。
トリプルディレイ	音が中央、右、左の順に反響する効果です。
コーラス	原音にピッチのゆらぎを持つ音をあわせることにより、音に広がりを加える効果です。
クラシックコーラス	往年のコーラスをデジタル信号処理により再現した効果です。
アンサンブル	3相のコーラスにより、音に豊かさを与える効果です。
トレモロ	音量にゆらぎを与える効果です。
クラシクトレモロ	往年のトレモロをデジタル信号処理により再現した効果です。
ビブラートトレモロ	トレモロにビブラートを加えた効果です。
トレモロ+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、トレモロと組み合わせた効果です。
オートパン	音の間こえる位置を周期的に変化させる効果です。
クラシックオートパン	往年のオートパンをデジタル信号処理により再現した効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、オートパンと組み合わせた効果です。
フェイザー	原音に位相のずれた音をあわせることにより、音を飛び回らせる効果です。
クラシックフェイザー	往年のフェイザーをデジタル信号処理により再現した効果です。
フェイザー+オートパン	フェイザーにオートパンを加えた効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
フェイザー+コーラス	フェイザーにコーラスを加えた効果です。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーによる音の変化を再現した効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を踏むことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー2にさらに歪を加えた効果です。
ロータリー4	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
ロータリー5	ロータリー2にコーラスを加えた効果です。
ロータリー6	ロータリー3にコーラスを加えた効果です。

■各エフェクトの変更項目と効果

タイプ	項目	効果(数字を大きくした場合)
ディレイ3種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	タイム	反響音の間隔が長くなります。
コーラス、アンサンブル	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
クラシックコーラス	モノラル/ステレオ	音の広がりが増します。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
トレモロ3種、 オートパン2種、フェイザー2種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。
ロータリー6種	アクセルスピード	遅い方⇔速い方へ変化する際のスピードが速くなります。
	ロータリースピード	速い方のスピードが増します。
[エフェクト]+[エフェクト]	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
[エフェクト]+アンプ	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。

色々な楽器を演奏する(サウンドタブ)

⑥ チューニング

チューニング項目で[+] [-]ボタンをタップして値を変更します。

値は427.0~453.0(Hz)の間で、0.5(Hz)ずつ変更できます。



⑦ トランスポーズ

トランスポーズ項目で[+] [-]ボタンをタップしてキーを変更します。

キーは-12~12の間で、半音ずつ変更できます。



⑧ その他の音色設定(ピアノ音色以外)

ピアノ以外の音色を選択している場合に[編集]ボタンをタップすると音色編集をすることができます。

設定内容はコンサートチューナーと共通です。

参照 コンサートチューナー詳細設定 P.52

CHECK

調節できる項目は選択する音色によって異なります。



⑨ お気に入り登録

●をタップすると表示が♥に変わり、サウンドタブ内「お気に入り」カテゴリーに追加されます。



タップ

⑩ メニュー

⋮ (メニューボタン)をタップすると以下の項目がポップアップ表示されます。

• 現在の音色を保存する

現在の音色設定をユーザー音色として、サウンドタブ内「ユーザー」カテゴリに保存することができます。
ディスプレイに表示されるダイアログに従って操作してください。

• レコーダー画面を表示

レコーダー画面を表示します。
レコーダーを録音停止状態にしたまま、レコーダー画面を表示したい場合はこの操作を行います。

参照 レコーダー画面 P.45

• メトロノーム画面を表示

メトロノーム画面を表示します。
メトロノームをオフ状態にしたまま、メトロノーム画面を表示したい場合はこの操作を行います。

参照 メトロノーム画面 P.42

ポップアップ画面の領域外をタップするとエディター画面に戻ります。



曲を楽しむ(ミュージックタブ)

1 ミュージックタブ画面の構成



メニュー

タップ



アイコンをタップしてメニューを開きます。

 参照 メニュー詳細 P.61

カテゴリー選択

タップ



カテゴリー	説明
USBメモリプレイヤー	USBメモリ内の曲を再生します。
お気に入り	お気に入り登録した曲の一覧です。
最近再生した曲	過去に選択した曲(30曲)の一覧です。
リラックスソング集	ヒーリング曲をカテゴリ別に再生できます。
作曲家	作曲者名から曲を選択できます。
楽譜集	楽譜集から曲を選択できます。
ジャンル	ジャンルから曲を選択できます。
音色デモ	音色デモ曲の中から曲を選択できます。
録音した曲	本体やUSBメモリに録音した曲を再生できます。

CHECK

- ・「お気に入り」、「最近演奏した音色」カテゴリーは曲が選択された場合のみ表示されます。
- ・「録音した曲」カテゴリーは内蔵メモリに録音した曲がある場合のみ表示されます。
- ・「最近再生した曲」カテゴリーでは履歴が30曲を超えた場合、過去に選択した曲順にリスト上から削除されます。



ミニプレイヤー

タップ 

本体やUSBメモリに録音した曲を再生できます。

2 プレイヤー画面の構成

プレイヤー



現在選択されているプレイヤーモードを表示しています。タップすると各プレイヤーモードの画面を表示します。

コンサートマジック



指一本で本格的なピアノ演奏を可能にするコンサートマジック機能を使って演奏ができます。

参照 コンサートマジックモード P.40

内蔵曲情報

上段に作曲者名、下段に再生中の曲名が表示されます。

プレイヤーメニュー



アイコン	名称	説明
▶	再生	選択されている曲を再生します。
⏏	一時停止	再生を停止します。
⏮	戻る	一曲前の曲に戻ります。
⏭	進む	次の曲に進みます。
🔄	リピート	選択されている曲リストをリピートします。
🎲	シャッフル	選択されているリスト内の曲をランダムで再生します。

オープン/クローズ ボタン



☰をタップするとプレイヤーが縮小し、ミニプレイヤーが画面下部に表示されます。☰をタップするとプレイヤーが開きます。

ミニプレイヤー



タップ 

レッスン



機能	説明
再生テンポ	曲を再生するテンポを調節できます。
メトロノーム ボリューム	メトロノームのボリュームを調節できます。
右手左手バランス	右手パートと左手パートの音量バランスを調節できます。
トランスポーズ	曲を移調することができます。
ABリピート	聞きたい範囲を選んで繰り返し再生することができます。

参照 レッスンモード P.38

再生アニメーション

再生位置

ドラッグ 

再生位置を表しています。
● (スライダー) を右に動かすと曲が進み、左に動かすと戻ります。

お気に入り登録

タップ 

タップするとマークの色が反転し、お気に入り曲に登録されます。
お気に入り登録すると、お気に入りリストから再生できます。
再度タップするとお気に入りリストから削除されます。

音量調整

ドラッグ 

内蔵曲の再生音量を調節できます。

3 プレイヤー画面からできること

本機では内蔵曲を再生して楽しむだけでなく、コンサートマジックで遊んだり、レッスンモードで練習をすることができます。また、USBメモリを[USB to DEVICE]端子に接続してUSBメモリに保存した曲を再生することができます。

① プレイヤー

以下のファイルを再生できます。

- ・本体に内蔵されている曲
- ・本体に録音、保存した曲
- ・USBメモリ上にあるSMF(フォーマット0, フォーマット1)
- ・USBメモリ上にあるmp3ファイル(ビットレート: 8k~320bps, サンプリング周波数: 44.1kHz / 48kHz / 32kHz, ステレオ)
- ・USBメモリ上にあるWavファイル(サンプリング周波数: 44.1kHz, 16bit, ステレオ)

② レッスンモード(本体内蔵曲のみ)

1. ミュージックタブから練習したい曲を選択し、ミニプレイヤーで  をタップします。



2. プレイヤー上部の  をタップしてレッスンモードに入ります。



CHECK

本体内蔵曲でも、コンサートマジック、レッスンモード非対応の曲があります。

■ レッスンモードを使ってできること

- ・曲を再生して曲想を覚える
- ・曲を片手ずつ再生しながらパートごとに練習をする
- ・テンポを変えて練習する
- ・曲の途中の部分を繰り返して練習する

など様々な使い方ができます。

CHECK

- ・曲のテンポは、お様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
- ・設定されているテンポよりも遅くして再生したとき、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変わらない場合があります。
- ・練習時におお客様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時(フォルテ)の音量を下げてあります。
- ・バッハ・インヴェンションの強弱記号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。
- ・ショパン・ワルツ集では、ワルツ独特のリズムの揺れやフレーズの抑揚を表現するため、演奏がメトロノームとずれています。メトロノームは速度表現のガイドとしてご利用ください。

■片手ずつ練習する

曲を聴きながら左手・右手別々に練習できます。

プレイヤーモードで右手左手バランスの  (スライダー) を左右に動かして右手・左手の音量バランスを調節します。

・左手部分を再生しながら右手部分の練習をしたい場合

 (スライダー) を左に動かすと右手部分の音量が下がります。

・右手部分を再生しながら左手部分の練習をしたい場合

 (スライダー) を右に動かすと左手部分の音量が下がります。



☑ CHECK

- ・自分の部分の見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、曲の再生を小さくするか消してください。
- ・バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、 (スライダー) を右に動かすと先生の部分が小さくなり、左に動かすと生徒の部分が小さくなります。

■曲の途中の部分を繰り返して練習する

現在の曲の中の小節位置をA・B、2ヶ所指定してその区間をリピート再生できます。

1. 練習したい曲を選択し、再生します。

2. Aボタンをタップしてリピートしたい区間の始まりの位置を設定します。



3. リピートしたい区間の終わり位置でBボタンをタップすると、AとBの区間が繰り返し再生されます。



4. 再度Aボタン、Bボタンをタップするとリピート区間の設定が解除され、通常の再生に戻ります。

曲を楽しむ(ミュージックタブ)

③ コンサートマジックモード(本体内蔵曲のみ)

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする機能です。

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。

どの鍵盤を弾いても演奏が進み、タイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

1. ミュージックタブからコンサートマジックを演奏したい曲で選択し、ミニプレイヤーで  をタップします。



2. プレイヤー上部の  をタップしてコンサートマジックモードに入ります。



CHECK

本体内蔵曲でも、コンサートマジック、レッスンモード非対応の曲があります。

鍵盤を弾くと鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾く強さによって強弱をつけることもできます。演奏に従ってアニメーションが表示されますので、鍵盤を弾くタイミングの目安として使うことができます。



M E M O

メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

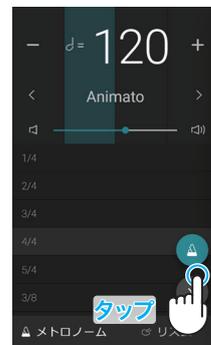
○メトロノームのオン/オフ

1. をタップします。

ボタンの色が変わるとメトロノームが発音し、詳細設定画面が開きます。



2. 再度 をタップし、ボタンの色が変わるとメトロノームが止まります。



○メトロノームモード詳細画面

インジケーター

メトロノームの発音に合わせてアニメーションが動きます。

テンポ

タップ スワイプ

設定されているメトロノームのテンポが表示されます。

[+] [-] ボタンをタップして10~400の範囲でテンポを設定できます。

左右にスワイプすると値が素早く1ずつ変わり、上下にスワイプすると10ずつ値を変更できます。

拍子選択エリア

タップ

1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子の中から選択できます。

モード選択ボタン

タップ

メトロノームモードとリズムモードを選択できます。

速度標語

タップ

<> をタップすると速度標語が変わり、速度標語に応じたテンポに設定されます。

ボリューム

ドラッグ

スライダーを動かしてメトロノームの音量を調節します。

オン/オフボタン

タップ

メトロノームをオン/オフします。

閉じるボタン

タップ

メトロノームモード詳細設定画面を閉じます。

メトロノームの音を鳴らしたまま、音色を変更したり、録音をしたい場合は、このボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

○ リズムモード詳細画面

テンポ



リズムのテンポが表示されます。
 [+] [-] ボタンをタップして10~400の範囲でテンポを設定できます。
 左右にスワイプすると値が素早く1ずつ変わり、上下にスワイプすると10ずつ値を変更できます。

インジケーター

リズムの発音に合わせてアニメーションが動きます。

ボリューム



スライダーを動かしてリズムの音量を調節します。

リズム選択エリア



カテゴリーごとに分類されたリズムをリストから選択できます。

参照 リズム一覧 P.76

オン/オフボタン



リズム動作をオン/オフします。

閉じるボタン



リズムモード詳細設定画面を閉じます。
 リズムの音を鳴らしたまま、音色を変更したり、録音をしたい場合は、このボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

モード選択ボタン



メトロノームモードとリズムモードを選択できます。



演奏を録音する(レコーダー)

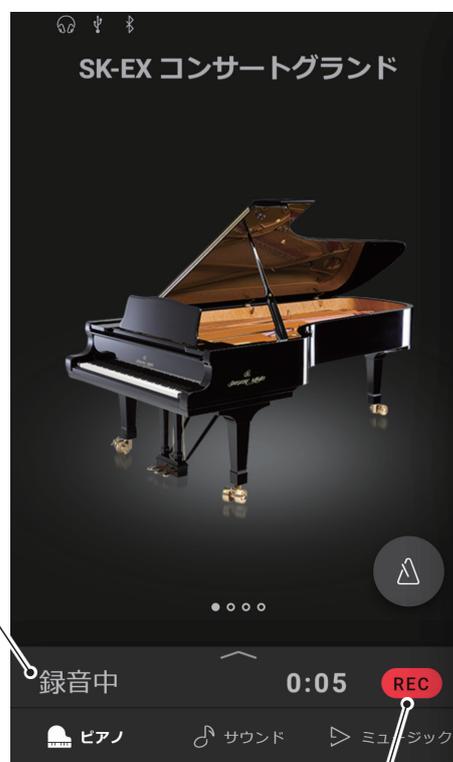
本機は自分の演奏を本体に録音し再生したり、USBメモリ内に直接録音したり、再生したりすることができます。レコーダーはミニレコーダーとレコーダー画面、2つの表示スタイルがあります。

○ ミニレコーダー

ピアノタブ、サウンドタブの下部の選択コンテンツバーの右側の表示されている[REC]ボタンです。録音しながら音色を変更したり、メトロノーム機能を使いたい場合に利用します。

録音ステータス

録音状態を表示します。
録音停止状態では選択中の音色名が表示されます。



録音ボタン

タップ

ボタンをタップしてレコーダーの状態を切り替えます。

- **REC** (通常時)：通常の状態です。
- **REC** (スタンバイ)：タップする、または演奏を始めると録音が始まります。
- **REC** (録音)：録音が始まっています。

○ レコーダー画面

レコーダー専用画面です。録音時間を確認したり、オーバーダビング機能、録音フォーマットの選択等、各種レコーダー機能を使いたい場合に利用します。

録音ステータス

録音状態を表示します。

オーバーダビング曲名

オーバーダビング録音の際に選曲した曲名が表示されます。

閉じる

レコーダー画面を閉じて、ピアノタブまたはサウンドタブを表示します。

録音状況はミニレコーダーに引き続き表示されます。

メニューボタン

タップするとレコーダーメニューを表示します。
(録音中は表示されません。)

CHECK

[USB to DEVICE] 端子にUSBメモリが挿入されている場合のみ表示されます。

録音時間

録音時間を表示します。

選曲ボタン

オーバーダビングする曲の選曲画面が表示されます。
(録音中は表示されません。)

再生ボタン

オーバーダビングする曲を視聴できます。
(録音中は表示されません。)

録音ボタン

ボタンをタップしてレコーダーの状態を切り替えます。

- (通常時) : 通常の状態です。
- (スタンバイ) : タップする、または演奏を始めると録音が始まります。
- (録音) : 録音が始まっています。



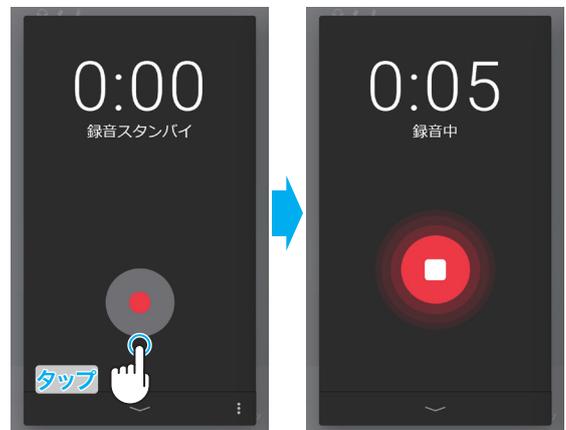
演奏を録音する(レコーダー)

① 録音する

1. ピアノタブ画面、サウンドタブ画面で **REC** をタップすると **REC** と表示され、スタンバイ状態になります。



2. もう一度 **REC** をタップするか、演奏を開始する、または選択コンテンツバーをタップしてレコーダー画面を開き、**REC** をタップして録音を開始します。



※ レコーダー画面を開いたときの表示

3. 演奏が終わったら **REC** または **REC** をタップして録音を停止します。録音を停止すると録音終了画面が表示されます。
4. 録音した演奏をすぐに確認したい場合は[再生]ボタンをタップして再生します。保存する場合は[保存]ボタンをタップし、削除する場合は[削除]ボタンをタップします。

☑ CHECK

録音データの保存先は録音フォーマットに応じて内蔵メモリ、USBメモリに保存されます。詳しくは録音フォーマットをご確認ください。

[参照](#) 録音するフォーマットを選択する P.50



○ 曲を聴きながら演奏を重ねてダビングする(オーバーダビング)

■ 録音した曲に重ねて録音する

1. 通常の方法で演奏を録音し、録音終了画面で[オーバーダブ]ボタンをタップすると録音開始画面が表示されます。



2. 録音ボタンをタップするとスタンバイ状態になります。



3. もう一度録音ボタンをタップするか、演奏を開始すると録音を開始します。



4. 演奏が終わったら録音ボタンをタップして録音を停止します。
録音を停止すると録音終了画面が表示されます。

5. 録音した演奏をすぐに確認したい場合は[再生]ボタンをタップして再生します。
保存する場合は[保存]ボタンをタップし、破棄する場合は[削除]ボタンをタップします。

☑ CHECK

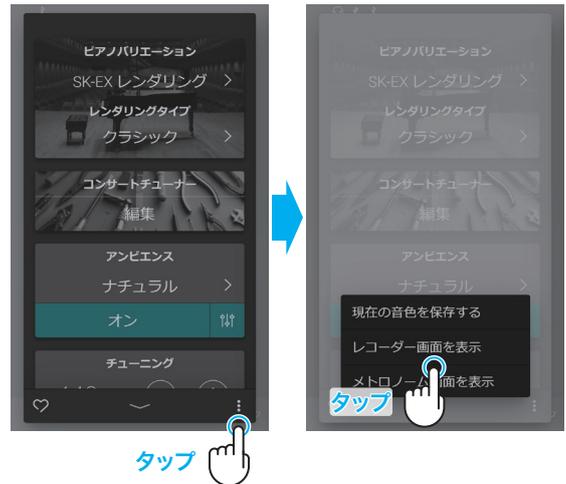
内蔵メモリの場合、オーバーダビングは1回のみ録音可能です。2回以上オーバーダビング録音したい場合はUSBメモリをご利用ください。



演奏を録音する(レコーダー)

■ 内蔵曲に重ねて録音する

1. ピアノおよびサウンドエディターのメニュー内、「レコーダー画面を表示」をタップすると、録音開始画面が表示されます。



2. > (選曲ボタン)をタップします。



3. 選曲画面から重ねて録音したい曲を選択します



4. 録音ボタンをタップするとスタンバイ状態になります。



5. もう一度録音ボタンをタップするか、演奏を開始すると録音を開始します。



6. 演奏が終わったら録音ボタンをタップして録音を停止します。録音を停止すると録音終了画面が表示されます。

7. 録音した演奏をすぐに確認したい場合は[再生]ボタンをタップして再生します。
保存する場合は[保存]ボタンをタップし、破棄する場合は[削除]ボタンをタップします。



演奏を録音する(レコーダー)

② レコーダーメニュー

■ 録音するフォーマットを選択する

録音のフォーマットを選択できます(内蔵メモリ/Wav/mp3)。

フォーマットごとの録音(保存)先は下記のとおりです。

録音フォーマット	録音(保存)先	
内部メモリ	内蔵メモリ	最大10曲まで保存可能
mp3	USBメモリ	ビットレート：256kbps固定 サンプリング周波数：44.1kHz ステレオ
Wav		サンプリング周波数：44.1kHz 16bit ステレオ



■ 録音レベルを設定する

録音する曲に合わせた録音レベル調節を行うことができます。

—●—(スライダー)を左右に動かして録音レベルを調節できますので、録音する曲に合わせて録音レベルを調節してください。

MEMO 録音レベルについて

- ・スライダーを右に動かして録音レベルを大きくすると、ピアノ時のような小さな音もしっかりと録音できますが、フォルティッシモ時のような大きな音では音がクリップする(歪む)場合があります。
- ・スライダーを左に動かして録音レベルを小さくすると、フォルティッシモ時のような大きな音でも音がクリップせずに録音できますが、ピアノ時のような小さな音が録音されにくい場合があります。



CHECK

録音フォーマットが「内蔵メモリ」の場合、本項目は表示されず、[USB to DEVICE]端子にUSBメモリが挿入されている場合のみ表示されます。

○ 本体への録音について

本機の総記憶容量は、約90,000音です。

総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量5,000音の場合、ベートーベンの「エリーゼのために」であれば約3～4回の録音ができ10～15分程度の録音が可能です。

ただし、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。

またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

録音中に記憶容量がいっぱいになったときは録音が中止されますが、中止される直前までの演奏は録音されます。

レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

録音中の音色変更は記憶されます。

録音中のデュアルモード/スプリットモードの移行および設定変更は記憶されます。

録音中のメトロノームテンポ変更は記憶されません。録音直前のテンポで記憶されます。

○ USBメモリへの録音について

USB録音モードの場合、メトロノーム、リズムの音は録音されません。

コンサートチューナー

アコースティックピアノの調律師は基本的な音程を作る「調律」、もっともよい状態で音が出るように整備する「整調」、演奏者のイメージに合わせた音色を作る「整音」という3つの作業を行うことでピアノの調整をしています。「コンサートチューナー」は調律師が行うこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整できる機能です。

☑ CHECK

ピアノ以外の音色が選択されている場合は、「コンサートチューナー」ではなく、「その他の音色設定」としてサウンドエディターに表示されます。各設定項目で設定される内容は、コンサートチューナーと共通です。

○ コンサートチューナーの表示方法

ピアノタブ画面で選択コンテンツバーをタップしてピアノエディターを開き、コンサートチューナー項目で[編集]ボタンをタップして詳細設定に入ります。



○ コンサートチューナー詳細設定

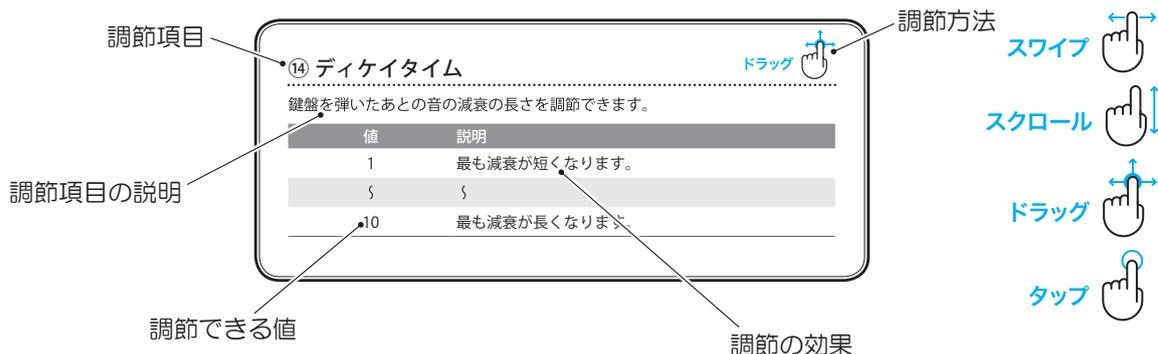
詳細設定画面で調節したい項目をタップし、各項目ごとに設定を変更します。

☑ CHECK

音色によって調節できる項目が異なり、調節できない項目は非表示になります。



本書では各調整項目の内容および設定値、調節方法を次のように説明しています。



① タッチカーブ

アコースティックピアノは鍵盤を弾く力を強くしていくと、音量も大きくなっていきます。

この鍵盤を弾く強さと、音量との関係をタッチカーブと呼びます。

タッチが軽く、フォルティッシモが簡単に出してしまうときヘビーを選択し、タッチが重く、フォルティッシモがなかなか出せないときはライトを選択します。

タイプ	説明
ライト4	弱いタッチで弾いても、安定して音が出ます。
ライト3	小さなお子様や、オルガンプレイヤー向けのタッチカーブです。
ライト2	明るい音を軽いタッチで出すことができます。
ライト1	弱いタッチはそのまま弱い音が出ます。
ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
ヘビー1	弱打の柔らかい音と強打の明るい音を出しやすくするカーブです。
ヘビー2	アクセントのあるダイナミックな演奏に向いています。
ヘビー3	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
ヘビー4	指の力の強い人向けのタッチカーブです。
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。

② ボイシング

アコースティックピアノでは、ピアノの弦を叩くハンマーのフェルトの硬さを調整して音色のバランスを整えます。

本機能はそのハンマーの状態をシミュレートしており、7種類のタイプが選べます。

タイプ	説明
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色です。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートしたソフトな音色です。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色です。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色です。



③ レゾナンスデプス

アコースティックピアノでは音が弦、駒を伝って他の弦や響板、フレームに伝わり、再び弦に戻り振動させ豊かな共鳴音を作り出します。また、その共鳴音は鍵盤タッチ、ペダルの状態に応じて複雑に変化します。

本機、SK-EXレンダリング音源ではその共鳴効果を調節できます。

値	説明
1	最も共鳴効果が小さい設定です。
5	5
10	最も共鳴効果が大きい設定です。



④ ダンパーレゾナンス

アコースティックピアノではダンパーペダルを踏むとすべてのダンパーが上がり、ピアノの弦が共鳴します。この状態で演奏すると弾いた鍵盤の弦だけでなく他の鍵盤の弦も共鳴します。

本機ではこの共鳴音を再現しています。

値	説明
オフ	共鳴音がない状態です。
1	最も共鳴音が小さい設定です。
5	5
10	最も共鳴音が大きい設定です。



⑤ ダンパーノイズ

アコースティックピアノは、ダンパーペダルを踏んだとき、離れたとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたたりするときにノイズ音が発生します。このノイズ音量を調整したいときにはこのパラメータを変更します。

値	説明
オフ	ノイズが出ない状態です。
1	最もノイズが小さい設定です。
5	5
10	最もノイズが大きい設定です。

⑥ スtringレゾナンス

アコースティックピアノは各鍵盤ごとに弦が張られており、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦が共鳴して音が出ます。

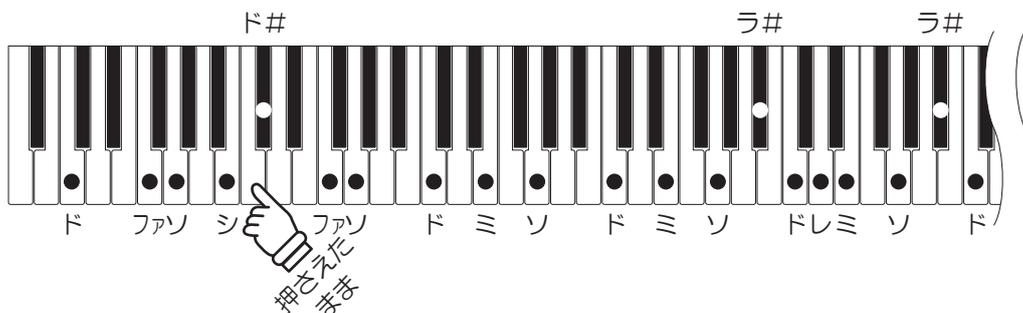
この共鳴をStringレゾナンスと呼び、本機ではこの共鳴をシミュレートしています。

値	説明
オフ	共鳴音がない状態です。
1	最も共鳴音が小さい設定です。
5	5
10	最も共鳴音が大きい設定です。

MEMO Stringレゾナンスとは？

ドの鍵盤を押さえたままのとき、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。

ドの鍵盤をそっと押さえたまま下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることがわかります。



※ピアノ音色や設定によって共鳴音の場所や音量等に違いがあります。

⑦ 開放弦レゾナンス

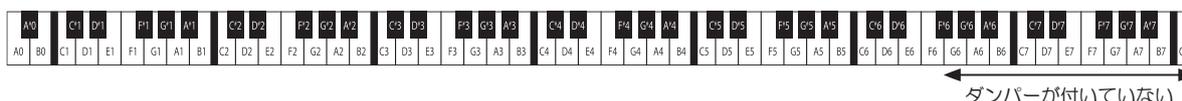
アコースティックピアノの高音部は「ダンパー」という止音装置が付いておらず、高音部の弦はダンパーペダルを踏む、踏まないに関わらず常に開放されている状態となっており、共鳴音が発生します。

本機はこの共鳴音をシミュレートしており、音量を調節できます。

値	説明
オフ	共鳴音がない状態です。
1	最も共鳴音が小さい設定です。
5	5
10	最も共鳴音が大きい設定です。

MEMO 開放弦とは？

アコースティックピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤(下図)にはダンパーという止音装置が付いていないため、常に音が伸びる状態(弦が開放された状態)になっています。





⑧ キャビネットレゾナンス

アコースティックピアノは弦だけでなく、ピアノ自体も共鳴して音が出ています。本機はこの共鳴音をシミュレートしており、音量を調節できます。

値	説明
オフ	共鳴音がない状態です。
1	最も共鳴音が小さい設定です。
5	5
10	最も共鳴音が大きい設定です。



⑨ キーオフエフェクト

アコースティックピアノでは、特に低音の鍵盤を強く弾いてから離れた際、音が止まる直前にダンパーが弦に触れて音が鳴ることがあります。この音量を調整したいときはこのパラメータを変更します。

値	説明
オフ	共鳴音がない状態です。
1	最も共鳴音が小さい設定です。
5	5
10	最も共鳴音が大きい設定です。



⑩ キーアクションノイズ

アコースティックピアノでは鍵盤を離れた際に鍵盤アクションが元に戻ることでノイズが発生します。このノイズの音量を調節したいときはこのパラメータを変更します。

値	説明
オフ	ノイズが出ない状態です。
1	最もノイズが小さい設定です。
5	5
10	最もノイズが大きい設定です。



⑪ ハンマーノイズ

アコースティックピアノでは、鍵盤を弾いたときハンマーが弦を叩く音や鍵盤が棚板にあたる音がします。このノイズの音量を調節したいときはこのパラメータを変更します。

値	説明
オフ	ノイズが出ない状態です。
1	最もノイズが小さい設定です。
5	5
10	最もノイズが大きい設定です。



⑫ ハンマーディレイ

アコースティックピアノでは、ピアノシモ(最弱打)で弾いた際、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。本機はこのハンマーの遅れをシミュレートしており、タイミングを調節できます。

値	説明
オフ	ハンマーの遅れがない状態です。
1	最もハンマー遅れが小さくなります。
5	5
10	最もハンマー遅れが大きくなります。



⑬ 大屋根開閉

グランドピアノは大屋根の開き具合によって音の響き方が変化します。本機はこの音の違いをシミュレートしており、開き具合によるタイプを選択できます。

タイプ	説明
オープン3	大屋根を一番開いた状態を再現します。
オープン2	大屋根を中程度開いた状態を再現します。
オープン1	大屋根を少し開いた状態を再現します。
クローズ1	大屋根を閉じ、前屋根だけ開いた状態を再現します。
クローズ2	大屋根を全て閉じた状態を再現します。



⑭ ディケイタイム

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調節できます。

値	説明
1	最も減衰が短くなります。
5	5
10	最も減衰が長くなります。



⑮ リリースタイム

鍵盤を離れたあとの音の減衰する長さを調整します。

値	説明
1	最も減衰が短くなります。
5	5
10	最も減衰が長くなります。



⑩ ミニマムタッチ

アコースティックピアノはそれぞれの個体によって、一番小さい音が出るタッチの強さが異なります。本設定では、この一番小さい音が出るタッチの強さを調節できます。

値	説明
1	弱いタッチでも音が出ます。
5	5
20	弱いタッチだと音が出なくなります。



⑪ ストレッチチューニング

「ストレッチチューニング」とは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くする、アコースティックピアノ特有の調律方法です。本機では3つのストレッチチューニングのタイプから選ぶことができます。

タイプ	説明
オフ	通常の平均律のチューニングそのままの状態です。
ノーマル	通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くなります。
ワイド	通常の平均律に比べ低音側はより低く、高音側はより高くなります。



⑫ 音律

本機ではアコースティックピアノの調律方法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律も設定できます。

タイプ	説明
平均律	現在のピアノの調律方法として最も一般的なもので、どのように転調や移調をしても和音の響きが変わらないという特長があります。
純正律(長調/短調)	主要な3度と5度のうなりをなくした調律法です。主要3和音が美しく響きますが、それ以外の和音は濁るものがあります。
ピタゴラス音律	ほとんどの5度のうなりをなくした調律法で、多くの3度がうなるため和音を演奏すると響きが濁りますが、旋律を演奏するとその個性が良く出るのが特長です。
中全音律	主要な長3度のうなりをなくすために少しか5度のうなりを許した調律法で、古い時代の鍵盤楽器で広く使用されました。
ヴェルクマイスター第三法 キルンベルガー第三法	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるにしたがって、旋律の個性が良く出るピタゴラス音律に近づく調律法です。古典音楽の作曲家の意図した“調性の性格”を反映することができます。

CHECK

- 平均律以外の音律を選択している場合、演奏する楽曲の調に合わせて主音を設定してお使いください。
- 平均律を選択している場合は主音の設定をしても変化はありません。



⑬ 音律の主音

C～Bの間で音律の主音を設定し、演奏する曲の調号に合わせます。



⑳ 88鍵ボリューム

アコースティックピアノは、鍵盤によって音量が異なります。これを調節する機能が88鍵ボリュームです。

タイプ	説明
ノーマル	88鍵ボリュームの初期設定です。
ハイダンピング	上の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
ローダンピング	下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
ハイ&ローダンピング	上と下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
センターダンピング	中央の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。



㉑ ハーフペダルアジャスト

ダンパーペダルを踏んだ際にハーフペダルが掛かり始めるポイント(音が伸び始めるポイント)を調整できます。

値	説明
1	最もハーフペダルスタートが早くなる設定です
5	↵
7	最もハーフペダルスタートが遅くなる設定です
8	ダンパーペダルをコントローラーとして使用する場合の設定です。 浅い部分でコントロール可能です。
5	↵
10	ダンパーペダルをコントローラーとして使用する場合の設定です。 最も広い範囲でコントロール可能です。



㉒ ソフトペダルデプス

ソフトペダルを踏んだ際のペダルの効き具合を調整できます。

値	説明
1	最もソフトペダルの効きが弱い設定です。
5	↵
10	最もソフトペダルの効きが強い設定です。

○ ダンパーホールド

ストリングアンサンブルのような持続音色(鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色)に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能です。

タイプ	説明
オン	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後も音が持続します。
オフ	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離すと音が減衰します。

M E M O

様々な設定をする(メニュー)

メニュー内の各項目では以下のような設定ができます。



1 スピーカー/ヘッドホン

スピーカーとヘッドホンに関する詳細設定を変更できます。



① トーンコントロール

演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。

タイプ	説明
フラット	トーンコントロールはかかりません。
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。
バスブースト	低音を強調した音質です。
バスカット	低音を弱くした音質です。
ミッドブースト	中音域が目立つような少し硬い音質です。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
ブライト	きらびやかな明るい音質です。
メロウ	落ち着いた柔らかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。低域(20-100Hz)と中域1(200-8000Hz)、中域2、高域(5000-20000Hz)をそれぞれ調節することが可能です。中域1と中域2については、周波数を選択することも可能です。

■ ブリリアンスを設定する

1. トーンコントロールで「ブリリアンス」を選択すると、 (スライダー)が表示されます。
2.  (スライダー)を動かしてブリリアンスを設定します。
スライダーを右に動かすと音色が明るくなり、左に動かすと暗くなります。

■ ユーザー設定をする

4バンドEQを調整し、オリジナルの音質を作成することができます。

1. トーンコントロールタブで  をタップし、ユーザーを選択します。
[編集] ボタンをタップすると、トーンコントロールユーザー設定画面が表示されます。
2. 周波数の値は  をタップして変更します。
3. レベルの値は  (スライダー)を動かして調節します。



② ウォールEQ

壁際に設置したときに適した音質に設定する機能です。

タイプ	説明
オフ	ステージなど、壁のない場所に設置したときに最適な音質になります。
ウォール1	コンクリート等、重量のある壁材の前に設置した際に最適な音質になります。
ウォール2	石こうボード等、比較的軽量な壁材の前に設置した際に最適な音質になります。



③ 小音量バランス

マスターボリュームで音量を小さくしたとき、タッチによる音量変化を減らし、弱打演奏で音が聞こえなくなってしまうことを防ぐ機能です。

タイプ	説明
オフ	効果をかけない状態です。
タイプ1	マスターボリュームを小さくした時の弱打の音量が小さくなります。
↵	↵
タイプ5	マスターボリュームを小さくした時の弱打の音量が大きくなります。



④ スピーカーボリューム

大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

タイプ	説明
ノーマル	通常の設定です。
小さい	スピーカーの最大音量が小さくなります。



⑤ スペシャル・ヘッドホン・サウンド

イヤホンやヘッドホンでの演奏をより快適にするために、アコースティックピアノから音が出ているような立体感、臨場感のあるサウンドを再現する機能です。

ヘッドホンやイヤホンを装着しても聴感上の違和感が少なく、聞き疲れしにくい演奏が可能になります。

タイプ	説明
オフ	効果をかけない状態です。
フォワード	前方への定位を強調した立体感が得られます。
ノーマル	全方向バランスのとれた立体感が得られます。
ワイド	左右の広がりを強調した立体感が得られます。



⑥ ヘッドホンタイプ

ヘッドホンには大きく分けて“オープンタイプ/セミオープンタイプ/クローズタイプ/インナーイヤータイプ/カナルタイプ”という5つのタイプがあります。

本機ではこれらのタイプそれぞれの特徴に合わせた専用の設定を内蔵していますので、お手持ちのヘッドホンに最適な音で演奏することができます。

タイプ	説明
ノーマル	ヘッドホン専用の設定がされていないデフォルトの設定です。
オープン	オープン(開放)タイプのヘッドホンに適しています。
セミオープン	セミオープン(半開放)タイプのヘッドホンに適しています。
クローズ	クローズ(密閉)タイプのヘッドホンに適しています。
インナーイヤー	インナーイヤータイプのヘッドホンに適しています。
カナル	カナルタイプのヘッドホンに適しています。



⑦ ヘッドホンボリューム

「大きい」に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなり、音量の小さいヘッドホンを使用する際に有効です。

タイプ	説明
ノーマル	通常の設定です。
大きい	ヘッドホンの最大音量が大きくなります。



⑧ ラインインレベル

[LINE IN]端子の入力レベルを調整します。●(スライダー)を右に動かすと入力レベルが大きくなり、左に動かすと小さくなります。

2 連弾モード

鍵盤を左右2つに分け、それぞれ同じ音域で演奏ができます。

このときダンパーペダル(右ペダル)は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル(左ペダル)は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、2台のピアノで演奏するように使うことができます。

1. 三(メニューボタン)をタップして、表示されたメニューから「連弾モード」をタップし、連弾モード画面に入ります。
鍵盤の音域が低音側、高音側に分かれます。



2. 低音側、高音側それぞれ楽器カテゴリーを選択し、〈 〉をタップして音色を変更します。
3. ✕をタップして連弾モード画面を閉じると、鍵盤の設定が通常の設定に戻ります。



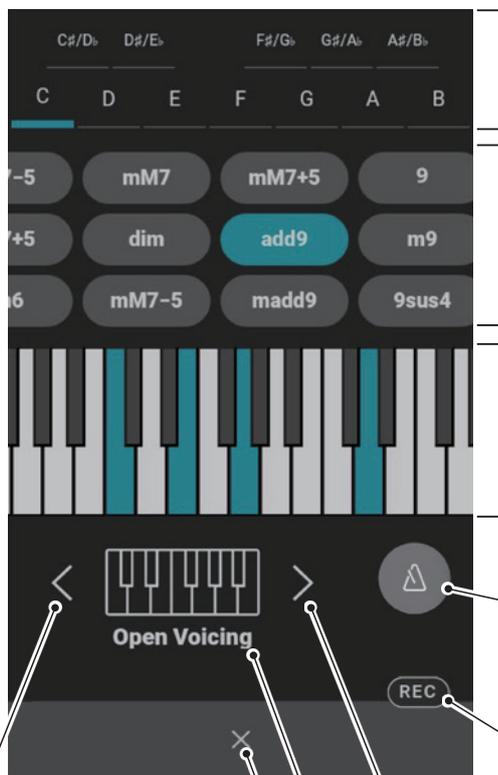
連弾モードでは以下の設定を変更できます。

- **バランス**
2つの音色の音量バランスを設できます。
スライダーを右に動かすと高音側の音量が大きくなり、左に動かすと小さくなります。
- **オクターブシフト**
[+] [-]ボタンをタップしてオクターブを変更します。
オクターブは低音側は0~3、高音側は-3~0の間で、1オクターブずつ変更できます。
- **スプリットポイント**
低音側と高音側の鍵盤が分かれる位置を変更できます。
[+] [-]ボタンをタップしてスプリットポイントを変更できます。

3 コード辞典

選択したコードの構成音を鍵盤上に転回して表示したり、ワンタッチでコードを鳴らしたりすることができます。テンション系のコードでは、オープンボイスイングとクローズボイスイングを切り替えることができます。

○コード辞典画面の構成



ルート選択エリア

タップ

選択されているルートが表示されます。

タイプ選択エリア

タップ + スワイプ

選択されているコードのタイプが表示されます。

鍵盤エリア

タップ + スワイプ

選択したルートとタイプで構成されるコードの転回形が表示されます。
タップしてコードを鳴らすことができます。

メトロノームボタン

タップ

ボタンをタップしてメトロノームのオン/オフを切り替えます。

レコーダーボタン

タップ

ボタンをタップしてレコーダーの状態を切り替えます。

閉じる

下方転回ボタン

タップ

ボタンをタップして、コード構成音を下方へ転回します。

上方転回ボタン

タップ

ボタンをタップして、コード構成音を上方へ転回します。

ボイスイングスイッチ

タップ

オープンボイスイングとクローズボイスイングを切り替えます。

CHECK

1オクターブに収まらないコードを選択したときのみ、ボイスイングスイッチが表示されます。

様々な設定をする(メニュー)

○コード辞典の使い方

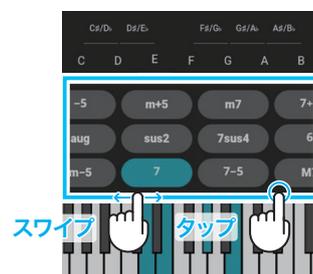
1. ルートボタンをタップしてルートを選択します。



2. タイプ選択エリアを左右にスワイプして、お好みのタイプボタンをタップしてタイプを選択します。

CHECK

ルートやタイプを変更した場合、転回形は基本形にもどります。



3. 鍵盤エリアに選択中のルート／タイプのコード構成音が表示され、エリアをタップしてコードを鳴らすことができます。

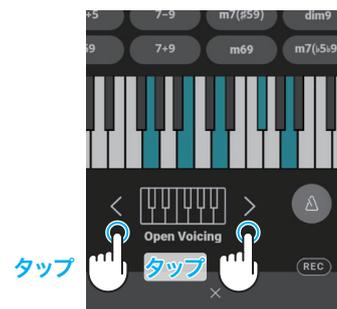
エリア内を左右にスワイプして鍵域を変更することができます。



4. < (下方転回ボタン)や > (上方転回ボタン)をタップして、コード構成音を基本形から下方や上方へ転回できます。

CHECK

転回してコード構成音が画面の外に出たときは、鍵盤エリアをスワイプして鍵域を調整してください。



5. 1オクターブに収まらないコードを選択すると、ボイシングスイッチが表示されます。

ボイシングスイッチをタップして、オープンボイシングとクローズボイシングを切り替えます。

オープンボイシング選択時、コード構成音が2オクターブの範囲で転回されます。
クローズボイシング選択時、コード構成音が1オクターブの範囲で転回されます。



4 Bluetooth

本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと接続し、スマートデバイス内蔵の音楽を再生したり、スマートデバイスのアプリと連携させることができます。

本機のBluetooth MIDIまたはオーディオをオンにした状態で、本機の周辺でスマートデバイスのアプリケーションのBluetooth機能をオンにすると、接続候補としてBluetooth Audioの場合は「9900GP Audio」、Bluetooth MIDIの場合は「9900GP」と表示されますので、タップして接続してください。

スマートデバイスの周辺にCA9900GPが複数ある場合は、接続するCA9900GPのみのBluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオをオンにしてください。

① Bluetooth MIDI



弊社提供のアプリケーションをスマートデバイスにインストールすると、本機をアプリから操作したり、MIDIデータの送受信ができます。

タイプ	説明
オン	スマートデバイス等のBluetoothと接続できる状態です。
オフ	接続を切ります。

☑ CHECK

スマートデバイスと接続している状態では、本機のUSB MIDIおよびMIDIは使用できません。

② Bluetooth MIDI表示名変更

スマートデバイスの周辺に複数のCA9900GPがある場合、Bluetooth MIDIの名称を変更することで、スマートデバイス側の表示を変更し、区別することができます。

ディスプレイに表示されるダイアログに従って、表示名を入力し、変更します。

③ Bluetoothオーディオ



スマートデバイスと接続して、オーディオデータを本機のスピーカーから鳴らすことができます。

タイプ	説明
オン	スマートデバイス等のBluetoothと接続できる状態です。
オフ	接続を切ります。

④ Bluetoothオーディオボリューム



本体のスピーカーから鳴らすスマートデバイスの音量を調節できます。●(スライダー)を右に動かすと音量が大きくなり、左に動かすと小さくなります。

5 USBメモリ

[USB to DEVICE] 端子に接続したUSBメモリをフォーマットできます。

[USB to DEVICE] 端子にUSBメモリを接続したときに、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットを実行してください。

フォーマットを実行するとUSBメモリ内のデータが全て消去されます。

☑ CHECK

- 他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合がありますので、フォーマットを実行する際には十分ご注意ください。
- USBメモリ項目は[USB to DEVICE]端子にUSBメモリが挿入されている場合のみ表示されます。

○ USBメモリの接続について

本機には[USB to DEVICE]端子があります。[USB to DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ USB機器の接続

[USB to DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。

本機の[USB to DEVICE]端子にUSBメモリを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBメモリに保存したり、USBメモリのデータを楽器本体で再生したりできます。

[USB to DEVICE]端子には記憶媒体としてUSBメモリのみをご使用ください。

USBメモリは延長ケーブル等を接続せず直接本体に接続してください。

■ USBメモリの抜き差し

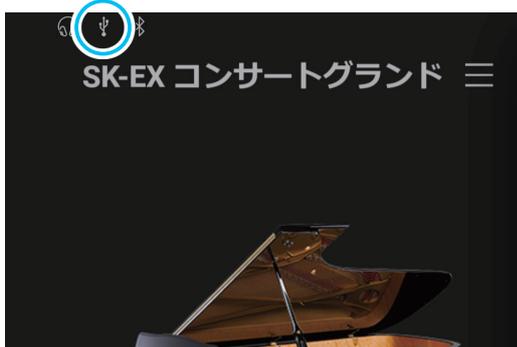
USBメモリを外すときは、データにアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

* 本機起動中にUSBメモリが差し込まれると、USBメモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

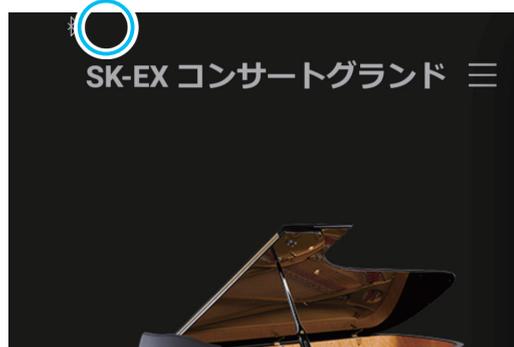
■ USBメモリの接続状態を確認する

USBメモリが本機の[USB to DEVICE]端子に挿し込まれている場合、ホーム画面(参照 P. 14)にUSBアイコンが表示されます。

USBメモリが[USB to DEVICE]端子に
接続されている表示



USBメモリが[USB to DEVICE]端子に
接続されていない表示



6 MIDI設定

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

参照：MIDIに関する詳細情報、および操作に関する説明については下記の弊社ホームページよりPDFマニュアルをダウンロードしてご覧ください。

<https://www.kawai.jp/product/ca99/>

7 ユーザーデータ管理

① お気に入り音色 リセット

サウンドタブ、お気に入りカテゴリーに登録された音色をリセット(全消去)できます。

② 最近弾いた音色 リセット

サウンドタブ、最近弾いた音色カテゴリーに登録された音色をリセット(全消去)できます。

③ ユーザー音色 リセット

サウンドタブ、ユーザーカテゴリーに登録された音色をリセット(全消去)できます。

④ お気に入り曲 リセット

ミュージックタブ、お気に入りカテゴリーに登録された楽曲をリセット(全消去)できます。

⑤ 最近再生した曲 リセット

ミュージックタブ、最近再生した曲カテゴリーに登録された楽曲をリセット(全消去)できます。

⑥ 録音した曲 リセット

ミュージックタブ、録音した曲カテゴリーに登録された楽曲をリセット(全消去)できます。

⑦ 初期状態にリセットする リセット

購入時の設定に戻すことができます。

8 システム

本機の各種設定を行うことができます。

① 画面の明るさ



ディスプレイの明るさの調整を行います。●(スライダー)を右に動かすとディスプレイが明るくなり、左に動かすと暗くなります。

② 表示サイズ



表示されるボタンのサイズを変更できます。●(スライダー)を右に動かすと表示サイズが大きくなり、左に動かすと小さくなります。

③ オートディスプレイオフ



パネルのボタンを操作していない状態が続いた場合、自動でディスプレイ表示をオフにしたり、スクリーンセーバーに切り替わるように設定することができます。

1. オートディスプレイオフ項目で<>をタップしてオフ、または時間を選択します。

オフ以外を選択するとスクリーンセーバー項目が表示されます。



☑ CHECK

オフを選択した場合、ディスプレイ表示はオフになりません。

2. スクリーンセーバー項目をタップしてスクリーンセーバー機能のオン/オフを切り替えます。

スクリーンセーバー項目をオフにすると、タッチパネルの操作を行わないまま選択時間を経過すると自動でディスプレイ表示をオフにします。

スクリーンセーバー項目をオンにすると、タッチパネルの操作を行わないまま選択時間を経過するとスクリーンセーバーに切り替わります。



☑ CHECK

再度タッチパネルに触れるとディスプレイが元の画面に戻ります。



④ オートパワーオフ

何も操作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

タイプ	説明
オフ	電源が自動に切れない設定です。
15分	15分何も操作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60分	60分何も操作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120分	120分何も操作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。



⑤ 起動画面

起動時の画面を変更できます。

タイプ	説明
ピアノ	起動時の画面がピアノタブに設定されます。
サウンド	起動時の画面がサウンドタブに設定されます。
ミュージック	起動時の画面がミュージックタブに設定されます。



⑥ 起動設定

起動時の設定を選ぶことができます。

タイプ	説明
デフォルト	デフォルトの設定に戻ります。
現在	本操作を行った時点の設定に復帰します。
電源OFF時	前回電源をオフにしたときに設定されていた設定に復帰します。



⑦ 表示言語

ディスプレイに表示される言語を選択できます。

タイプ	説明
日本語	ディスプレイの表示が日本語の設定です。
English	ディスプレイの表示が英語の設定です。



⑧ インフォメーション

本機のバージョンやライセンス情報を確認できます。

困ったときは

電源が入らない	
電源コードが正しく接続されていますか？	コンセント側と本体側の両方をご確認ください。 接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。 参照 電源を入れる P.11
電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。	
オートパワーオフが設定されていませんか？	参照 オートパワーオフ P.71
音が出ない	
音量が0になっていませんか？	参照 音量を調節する P.12
ヘッドホンが接続されていませんか？	ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。
以前ヘッドホンを使用したことがありますか？	お使いのヘッドホンによっては、変換プラグ(筒状の部品)が差込口に残っている場合があります。このアダプターが楽器に付いたままになっていると、スピーカーからの音は出ません。変換プラグが差込口に残っていないかをご確認ください。
ローカルコントロールがオフになっていませんか？	MIDIに関する詳細情報、および操作に関する説明については下記の弊社ホームページよりPDFマニュアルをダウンロードしてご覧ください。 https://www.kawai.jp/product/ca99/
ピアノの音がおかしい、異音やノイズがする	
グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣土士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもあります。これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご参照ください。	
ノイズやキーンという金属的な音がする	参照 トーンコントロール P.61 参照 キーアクションノイズ P.56 参照 ダンパーノイズ P.54
ある音だけ音量が大きい	参照 88鍵ボリュウム P.59
音がこもって聞こえる、キンキン聞こえる	参照 大屋根開閉 P.57 参照 トーンコントロール P.61 参照 ボイシング P.53 参照 タッチカーブ P.53 参照 ウォールEQ P.62
ペダルを踏むとノイズがする	鍵盤を弾いても弾かなくても、ダンパーペダルを踏むとダンパーが開放されたときに生ずる弦の音(ノイズ)がしますが、これは異常ではありません。 参照 ダンパーノイズ P.54
鍵盤を離すときにノイズがする	参照 キーアクションノイズ P.56 参照 キーオフエフェクト P.56
特定の演奏、特定の音域で音が歪む	ボリュウムを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。

鍵盤を弾くとカタカタ音がする

本機は、アコースティックピアノをシミュレートしたアクション機構を備えた鍵盤を採用しています。鍵盤を弾くと、カタカタと打鍵音がしますが、アコースティックピアノにも同様に機構音があり、異常ではありません。

ペダルが効かない

ペダルコードが正しく接続されていますか？	接続されていても、抜けかかっていることがあります。一度抜いて接続しなおしてみてください。
アジャスターが適正な長さになっていますか？	参照 アジャスターについて P. 13
高音域で、ダンパーが効かない	ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤にはダンパーという止音装置が付いておりません。本機ではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。 参照 開放弦レゾナンス P. 55

ペダルを踏むとぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。[参照](#) アジャスターについて P. 13

曲の再生

曲を再生しても音が出ない	ボリュームが0になっていませんか？ 参照 音量を調節する P. 12
USBメモリに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。お使いのUSBメモリの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリをお試しください。
USBメモリに保存されているSMFファイルが変な音で再生される	本機はGM規格には対応しておりません。一部のSMF(スタンダードMIDIファイル)は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
mp3 / Wavで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる(歪んでいる)	録音レベルの設定を調節してください。 参照 録音レベルを設定する P. 50

タッチパネルに触れても動作しない

以下の操作は誤動作の原因となります。

- ・異物を操作面に乗せたままでの操作。
- ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作。

USBメモリ

USBメモリが認識されない、または動作しない	USBメモリを一度抜いて、挿し直してください。再接続しても問題が解消されない場合は別のUSBメモリをお試しください。
USBメモリを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

困ったときは

Bluetooth	
接続できない	本機のBluetooth機能がオフになっていませんか？スマートデバイスのBluetooth設定ではなく、アプリケーション内の設定から接続してください。
接続したスマートデバイスが繋がらない	接続してもすぐに切れてしまう場合は、スマートデバイス側のBluetoothスイッチを一度オフにして再度オンにすると、接続される場合があります。
内蔵曲の演奏データが送信されない	内蔵曲の演奏データはBluetooth MIDIから出力されません。
ペアリングできない	Bluetooth接続がオンになっている場合、一度接続したお手持ちの機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続される場合があります。 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。

音色一覧

ピアノ

SK-EX レンダリング

SK-EX | コンサート

SK-EX | ジャズ

SK-EX | メロウ

EX | コンサート

EX | メロウ

EX | スタンダード

EX | ポップグランド

EX | ポップピアノ

EX | ニューエイジ

EX | モダン

SK-5 | クラシック

SK-5 | ジャズ

SK-5 | ポップ

アップライト | クラシック

アップライト | ブギー

アップライト | ホンキートンク

GP | エチュード

GP | カノン

GP | バラード

GP | プレリユード

GP | ポロネーズ

GP | マーチ

GP | マズルカ

GP | メヌエット

GP | ラプソディー

GP | ワルツ

エレクトリックピアノ

クラシック エレクトリック ピアノ1*

60's エレクトリック ピアノ

モダン エレクトリック ピアノ1

エレクトリック グランド

クラシック エレクトリック ピアノ2

クラシック エレクトリック ピアノ3

クラシック エレクトリック ピアノ4

クリスタル エレクトリック ピアノ

モダン エレクトリック ピアノ2

モダン エレクトリック ピアノ3

オルガン

ジャズオルガン*

ブルースオルガン*

バラードオルガン

ゴスペルオルガン

ドローパーオルガン1

ドローパーオルガン2

チャーチオルガン

チャーチオルガン

ディアパソン

フルアンサンブル

オクターブディアパソン

ティピアオルガン

オクターブプリンシパル

プリンシパルコーラス

バロックオルガン

ハーブシコード

ハーブシコード*

オクターブハーブシコード*

マレット

ビブラフォン

クラビ

マリンバ

チェレスタ

ストリングス

スローストリングス

シンセストリングス

メロウストリングス

ストリングアンサンブル

メロウオーケストラ

スモールストリングス

ハーブ

ピチカート

ボーカル

クワイア1

ポップボーカル1

ポップボーカル2

クワイア2

ジャズボーカル

ポップボーカル3

パッド

ファンタジー1

ファンタジー2

ファンタジー3

ファンタジック プラス

コスミックパッド1

コスミックパッド2

ベース

ウッドベース

エレクトリックベース1*

エレクトリックベース2*

ウッドベース&シンバル

エレクトリックベース&シンバル

ギター

バラードギター

ピックナイロンギター

フィンガーナイロンギター

カラフル

オルゴール

トイピアノ

ワンニャン

ドレミ #

ドレミ ♭

☑ CHECK

・* : Copyright © PREMIER Engineering Inc. 2018
PREMIER SOUND FACTORY

・表示ディスプレイ上では文字数が長いものは省略表示される場合があります。

リズム一覧

ビート	No.	リズム
8ビート	1	8ビート1
	2	8ビート2
	3	8ビート3
	4	ポップ1
	5	ポップ2
	6	ポップ3
	7	ポップ4
	8	ポップ5
	9	ポップ6
	10	ライドビート1
	11	ライドビート2
	12	ダンスポップ1
	13	カントリーポップ
	14	スムーズビート
	15	リムビート
8ビートロック	16	モダンロック1
	17	モダンロック2
	18	モダンロック3
	19	モダンロック4
	20	ポップロック
	21	ライドロック
	22	ジャズロック
	23	サーフロック
	16ビート	24
25		インディーポップ1
26		アシッドジャズ1
27		ライドビート3
28		ダンスポップ2
29		ダンスポップ3
30		ダンスポップ4
31		ダンスポップ5
32		ダンスポップ6
33		ダンスポップ7
34		ダンスポップ8
35		インディーポップ2
8ビートバラード	36	ケイジャンロック
	37	ポップバラード1
	38	ポップバラード2
	39	ポップバラード3
	40	ロックバラード1
	41	ロックバラード2
	42	スロージャム
	43	6/8 R&Bバラード
	44	トリプレットバラード1
	45	トリプレットバラード2
16ビートバラード	46	16バラード1
	47	ダンスバラード1
	48	ダンスバラード2
	49	ダンスバラード3
	50	エレクトロポップ

ビート	No.	リズム
16ビートダンス	51	16バラード2
	52	モダンポップバラード
	53	ダンス1
	54	ダンス2
	55	ダンス3
	56	ディスコ
	57	テクノ1
	58	テクノ2
16ビートスウィング	59	16シャフル1
	60	16シャフル2
	61	16シャフル3
	62	アシッドジャズ2
	63	アシッドジャズ3
	64	ニュージャックスウィング
	65	モダンダンス
8ビートスウィング	66	インディーポップ3
	67	スウィングビート
	68	モータウン
	69	カントリー2ビート
	70	ブギ
トリプレット	71	8シャフル1
	72	8シャフル2
	73	8シャフル3
	74	ダンスシャフル
	75	トリプレット1
	76	トリプレット2
	77	トリプレットロック
	78	レゲエ
ジャズ	79	H.H. スウィング
	80	ライドスウィング
	81	ファスト4ビート
	82	アフロキューバン
	83	ジャズボッサ
	84	ジャズワルツ
	85	5/4スウィング
ラテン/ワールド	86	H.H. ボサノバ
	87	ライドボサノバ
	88	ビギン
	89	ルンバ
	90	チャチャ
	91	マンボ
	92	サンバ
	93	サルサ
	94	メレンゲ
	95	タンゴ
	96	ハバネラ
	97	ワルツ
	98	ラグタイム
	99	マーチ
	100	6/8マーチ

内蔵曲一覧

1 音色デモリスト

音色	曲名	作曲者
ピアノ		
SK-EX レンダリング	英雄ポロネーズ	ショパン
SK-EX コンサート	ラ・カンパネラ	リスト
SK-EX ジャズ	オリジナル	カワイ
SK-EX メロウ	ノクターン第2番	ショパン
EX コンサート	愛の夢	リスト
EX メロウ	トロイメライ	シューマン
EX スタンダード	子犬のワルツ	ショパン
EX ポップグランド	オリジナル	カワイ
EX ポップピアノ	オリジナル	カワイ
EX ニューエイジ	オリジナル	カワイ
EX モダン	オリジナル	カワイ
SK-5 クラシック	無言歌第18番「二重唱」	メンデルスゾーン
SK-5 ジャズ	オリジナル	カワイ
SK-5 ポップ	オリジナル	カワイ
アップライト クラシック	乙女の祈り	パダジェフスカ
アップライト ブギー	オリジナル	カワイ
アップライト ホンキートンク	エンターティナー	ジョプリン
GP エチュード	月光	ベートーベン
GP バラード	エリーゼのために	ベートーベン
GP プレリユード	亜麻色の髪乙女	ドビュッシー
GP マーチ	トルコ行進曲	モーツァルト
GP ラプソディー	甘い思い出	メンデルスゾーン
エレクトリックピアノ		
クラシックエレクトリックピアノ1	オリジナル	カワイ
モダンエレクトリックピアノ1	オリジナル	カワイ
モダンエレクトリックピアノ2	オリジナル	カワイ
オルガン		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
ドローバーオルガン1	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン		
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
ハーブシコード		
ハーブシコード	フランス組曲第6番	バッハ
オクターブハーブシコード	プレリユード 変イ長調	バッハ
マレット		
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
ストリングス		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
ボーカル		
クワイア1	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア2	オリジナル	カワイ
ジャズボーカル	オリジナル	カワイ
パッド		
ファンタジー1	オリジナル	カワイ
ファンタジー2	オリジナル	カワイ
ベース		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース1	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース2	オリジナル	カワイ
ウッドベース&シンバル	オリジナル	カワイ
ギター		
バラードギター	オリジナル	カワイ
ピックナイロンギター	オリジナル	カワイ

2 ミュージックリスト

曲名	作曲者
クラシック	
タンブラン	ラモー
調子のよいかじ屋	ヘンデル
メヌエット ト長調 (BWV.Anh.114)	バッハ
メヌエット ト短調 (BWV.Anh.115)	バッハ
メヌエット ト長調 (BWV.Anh.116)	バッハ
かっこう	ダカン
ガボット	ゴセック
メヌエット	ボッケリーニ
主題と変奏 「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より 第1楽章	モーツァルト
トルコ行進曲 「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より 第3楽章	モーツァルト
メヌエット	モーツァルト
ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	ベートーベン
エリーゼのために	ベートーベン
ロンド・ファヴォリ	フンメル
即興曲 作品90の4	シューベルト
楽興の時 作品94の3	シューベルト
間奏曲	シューベルト
即興曲 作品142の3	シューベルト
歌の翼に	メンデルスゾーン
春の歌	メンデルスゾーン
ロンド・カプリッチョーン	メンデルスゾーン
別れの曲	ショパン
雨だれの前奏曲	ショパン
子犬のワルツ	ショパン
ノクターン第2番	ショパン
幻想即興曲	ショパン
軍隊ポロネーズ	ショパン
英雄ポロネーズ	ショパン
喜びの歌	ベートーベン
ウィリアムテル序曲	ロッシェニ
天国と地獄	オッフェンバック
新世界より「家路」	ドヴォルザーク
エンターティナー	ジョプリン
花のワルツ	チャイコフスキー
スケターズワルツ	ワルトトイフェル
美しく青きドナウ	シュトラウス
闘牛士の歌	ビゼー
ピチカートポルカ	シュトラウス
ブラームスの子守歌	ブラームス
ワシントンポストマーチ	スーザ
アメリカンパトロール	ミーチャム
眠りの森の美女	チャイコフスキー
軍隊行進曲	シューベルト
ジムノペディ 1番	サティ
前奏曲 作品28-7	ショパン
皇帝円舞曲	シュトラウス
メープルリーフラグ	ジョプリン
双頭のわしの旗のもとに	ワーグナー

曲名	作曲者
びっくりシンフォニー	ハイドン
凱行行進曲	ヴェルディ
ハバネラ	ビゼー
ジプシーの歌	ビゼー
未完成交響曲	シューベルト
結婚行進曲	メンデルスゾーン
婚礼の合唱	ワーグナー
映画/アニメ	
アンパンマンのマーチ	三木たかし
おどるポンポコリン	織田哲郎
夢をかなえてドラえもん	黒須克彦
勇気100%	馬飼野康二
きかんしゃトーマスのテーマ2	E.ウエルチ
サザエさん	筒美京平
さんぽ	久石譲
となりのトトロ	久石譲
崖の上のポニョ	久石譲
海に見える街	久石譲
いつも何度でも	木村弓
レット・イット・ゴー ～ありのままで～	K.アンダーソン、 R.ロペス
アンダー・ザ・シー	A.メンケン
ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
小さな世界	シャーマン兄弟
ビビディバビディブー	マークデヴィッド 他2名
ハイホー	F.チャーチル
星に願いを	L.ハーライン
狼なんかこわくない	F.チャーチル
チムチムチェリー	シャーマン兄弟
日本の歌	
春が来た	岡野貞一
さくら さくら	日本古謡
ふるさと	岡野貞一
七つの子	本居長世
かたつむり	文部省唱歌
虫のこえ	文部省唱歌
もみじ	岡野貞一
夕やけこやけ	草川信
ゆき	文部省唱歌
ひらいたひらいた	わらべうた
かくれんぼ	下総皖一
アメリカン・クラシック/世界の民謡	
聖者の行進	アメリカ民謡
おじいさんの古時計	アメリカ民謡
リパブリック賛歌	アメリカ民謡
アルプス一万尺	アメリカ民謡
線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡
10人のインディアン	アメリカ民謡
わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
森のくまさん	アメリカ民謡
ゆかいな牧場	アメリカ民謡
ケンタッキーの我が家	フォスター
故郷の人々	フォスター

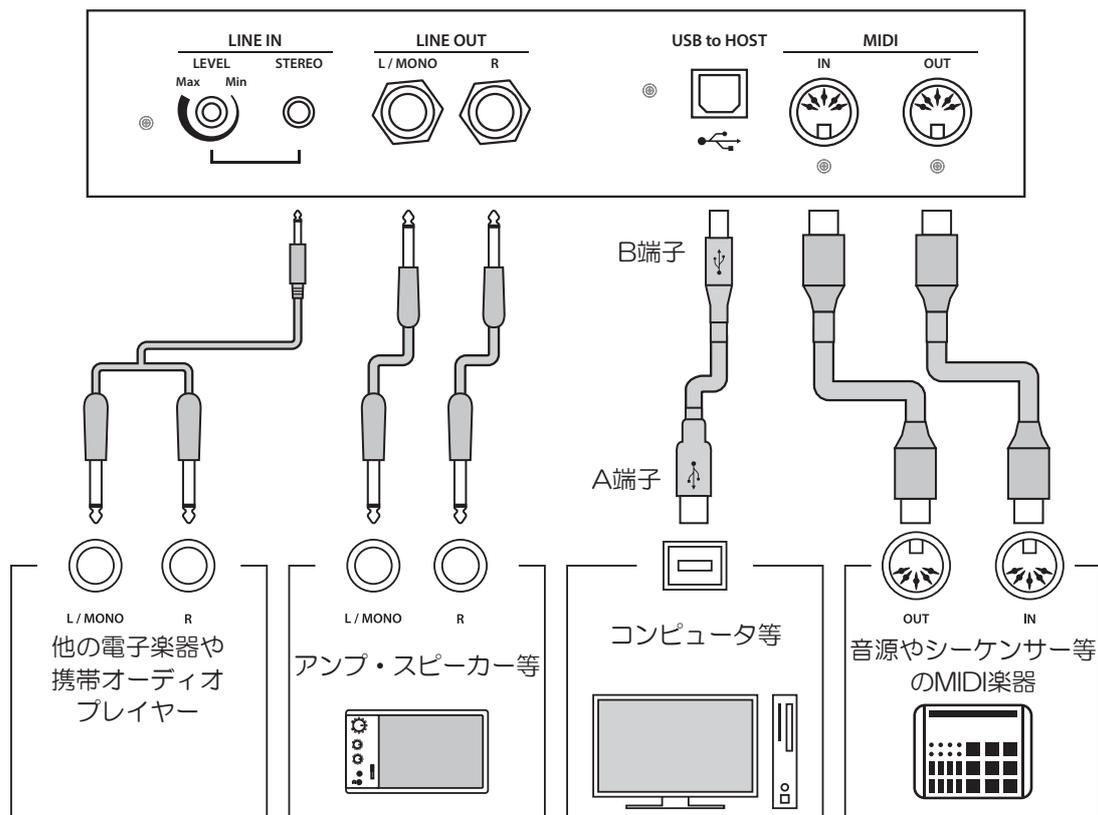
曲名	作曲者
草競馬	フォスター
ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
アニーローリー	スコットランド民謡
ロンドン橋	イギリス民謡
こぎつね	ドイツ民謡
山の音楽家	ドイツ民謡
ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
きらきら星	フランス民謡
フニクリフニクラ	デンツァ
サンタルチア	ナポリ民謡
こいぬのマーチ	外国曲
クリスマス	
おめでとうクリスマス	イギリス民謡
ジングルベル	ピアポント
もろ人こぞりて	讃美歌
きよしこの夜	グルーバー
リラックスソング集(クラシック)	
アリア 二長調	バッハ
フランス組曲第1番 二短調	バッハ
フランス組曲第3番 口短調	バッハ
ピアノソナタ第5番K.283 第2楽章	モーツァルト
ノクターン第10番 ホ短調	フィールド
アヴェ・マリア	シューベルト
甘い思い出	
“無言歌集第1集より第1曲 ホ長調”	メンデルスゾーン
無言歌集第8集 第46曲 ト短調	メンデルスゾーン
ショパン “謝肉祭より”	シューマン
夕べに “幻想小曲集より”	シューマン
おねだり(おねだりする子供)	シューマン
“子供の情景より”	シューマン
トロイメライ “子供の情景より”	シューマン
知らない国々(異国から)	シューマン
“子供の情景より”	シューマン
むきになって(生真面目)	シューマン
“子供の情景より”	シューマン
コンソレーション第3曲 変二長調	リスト
6つのピアノ曲集	
第2曲インテルメッツォ イ長調	ブラームス
ワルツ曲集 第15曲 変イ長調	ブラームス
エレジー “幻想的小品集より”	ラフマニノフ
3つの無言歌集 第3曲 変イ長調	フォーレ
夢	ドビュッシー

曲名	作曲者
リラックスソング集(ニューエイジミュージック)	
Autumn Morn	オリジナル
Reflections	オリジナル
Morning Mist	オリジナル
Icicles	オリジナル
Signs of Fall	オリジナル
Twilight	オリジナル
Daydream	オリジナル
Friends	オリジナル
Faded Photos	オリジナル
Lullaby	オリジナル
Going Home	オリジナル
Questions	オリジナル
Romantic Story	オリジナル
Pleasant Surprise	オリジナル
Long Goodbye	オリジナル
リラックスソング集(ジャズ)	
It Could Happen To You	ジミー・ヴァン・ヒューゼン
I Should Care	サミー・カーン、 アクセル・ストー ダール
クリフォードの思い出	ベニー・ゴルゾン
パリの四月	ヴァーノン・ デューク
君は我がすべて	ジェローム・カーン
Everything Happens to Me	マット・デニス
'Round Midnight	セロニアス・モンク、 クーティ・ウィリア ムス
リラックスソング集(クリスマス)	
ああべツレヘムよ	フィリップス・ブ ルックス
天にはさかえ	メンデルスゾーン
陽気な聖ニコラスさん	作者不明
もみの木	ドイツ民謡
天なる神には	リチャード・ストー ズ・ウィリス
グリーンズリープス	イギリス民謡

3 楽譜集曲

1. バイエルピアノ教則本 全曲 (ただし予備練習、付録を除く) (カワイ出版)
2. ブルクミュラー25の練習曲 全曲 (カワイ出版)
3. チェルニー100番練習曲 全曲 (カワイ出版)
4. チェルニー30番練習曲 全曲 (カワイ出版)
5. ソナチネ・アルバム1 全曲 (カワイ出版)
6. バッハ・インベンション 15曲 (カワイ出版: バッハ・インベンションとシンフォニア)
7. ショパン・ワルツ集 全曲 (全音楽譜出版社)
8. ショパン・エチュード集 作品10 (全音楽譜出版社)
9. ハノン第一部 20曲 (カワイ出版)

他の機器との接続



- 他の機器と接続するときは本機の電源を切ってから行ってください。
- 本機のラインイン(LINE IN)とラインアウト(LINE OUT)を直接ケーブルで接続しないでください。発振音が発生し、故障の原因になります。

1. LINE OUT(ライン出力端子) ＜標準フォンジャック＞

本機の音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、外部機器に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは本体のマスターボリュームで調節できます。Rは右側、L/MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOのみにプラグを接続したときに出力されます。

3. MIDI(ミディ)

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

2. LINE IN(ライン入力端子) ＜ミニステレオジャック＞

他の電子楽器や携帯オーディオプレイヤーなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。音量調節はラインイン端子の左側にあるLEVELつまみを回すか、接続した機器で調節してください。「ラインインレベル」を利用して調整することも可能です。

また、ラインイン端子には過大入力が入らないようにご注意ください。常識を超える過大入力に対しては故障の原因になりますのでご注意ください。

4. USB端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、デジタルピアノ側はB端子でそれぞれ接続します。

○ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア(USB-MIDIドライバー)がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なります。USBドライバーに関する情報は下記の弊社ホームページよりご覧ください。

<https://www.kawai.jp/product/ca99/>

○ USBに関するご注意

デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。

「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

○ Bluetoothに関するご注意

Bluetooth機能が使用する2.4GHz帯は、さまざま機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

Bluetooth接続がオンの状態で、周辺に複数のBluetooth対応機器がある場合は、接続したい機器以外とペアリングしないよう、ご注意ください。

※SCMS-T規格には対応していません。

※無線周波数帯2400～2483.5MHz、最大送信出力2.5mw (Bluetooth Low Energy)、4.5mw (A2DP)

※MIDI：Bluetooth (Ver4.1 GATT対応) / Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠。

※Audio：Bluetooth (Ver3.0)

仕様

鍵盤	88鍵 木製鍵盤グラウンド・フィール・アクションIII
同時発音数	最大256音(音色により異なる)
音色	90音色 (SK-EXレンダリング音源：1音色/10レンダリングキャラクター)
ディスプレイ	800×480dot 5インチ カラータッチ液晶ディスプレイ
効果	SK-EXレンダリング音源選択時： アンビエンス(10種) その他音源選択時時： リバープ(6種)、コーラス3種、ディレイ3種、トレモロ3種、オートパン2種、 フェイザー2種、ロータリー6種、コンビネーション5種、トーンコントロール
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類
内部レコーダー	10ソング約90,000音 *内部フォーマット形式
USBレコーダー	再生： mp3(ビットレート：8k～320kbps, サンプリング周波数：44.1kHz, 48kHz, 32kHz), Wav(44.1kHz, 16bit), SMF, KSO(内部ソングファイル) レコーダー録音： mp3(ビットレート：256kbps固定, サンプリング周波数：44.1kHz), Wav(44.1kHz, 16bit)
ラインイン録音	対応
内蔵曲	全587曲 (楽譜集曲357曲+20曲、デモ曲49曲、ミュージック161曲)
コンサートチューナー	タッチカーブ、ミニマムタッチ、ボイスング、レゾナンスデプス、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、 ストリングレゾナンス、開放弦レゾナンス、キャビネットレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、 ハンマーノイズ、ハンマーディレイ、大屋根の開閉、ディケイタイム、リリースタイム、ストレッチチューニング、 音律、音律の主音、88鍵ボリューム、ハーフペダルアジャスト、ソフトペダルデプス ※設定できる項目は選択する音源によって異なります。
キートランスポーズ	-12～12半音
ソングトランスポーズ	-12～12半音
オートパワーオフ	オフ、15分、60分、120分
ヘッドホン機能	スペシャルヘッドホンサウンド、ヘッドホンタイプ、ヘッドホンボリューム
その他機能	チューニング、ダンパーホールド、トーンコントロール、ウォールEQ(CA99のみ)、小音量バランス、 スピーカーボリューム、ラインレベル、MIDI設定機能、Bluetooth設定機能、画面の明るさ、 表示サイズ、オートディスプレイオフ、起動画面、起動設定、表示言語、ファクトリーリセット、 デュアル/スプリット/連弾モード(SK-EXレンダリング音源選択時は除く)、コード辞典
ペダル	ダンパー(ハーフペダル対応)、ソフト(ハーフペダル対応)、ソステヌート
キーカバー	回転式
譜面立て	折り畳み式
外部記憶	USBメモリ
外部端子	ヘッドホン(2)、MIDI(IN, OUT)、LINE OUT(L/MONO,R)、 LINE IN- LINE INボリューム付、USB to HOST、USB to DEVICE、USB for UPDATE
無線接続	Bluetooth MIDI(バージョン：4.1) Bluetooth Audio(バージョン：3.0 対応プロファイル：A2DP 対応コーデック：SBC, AAC, aptX)
出力	130W
スピーカー	8 cm×4(トップスピーカー)ディフューザー付き 2 cm×2(ドームツイーター) 響板スピーカー
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz
消費電力	55W
寸法	W144.5×D47×H101cm
重量	83kg
同梱品	本体/高低自在椅子/電源コード/取扱説明書(本書)/ クラシカルピアノコレクション(楽譜集)/ヘッドホン(SH-2N)/ヘッドホンフック/ 保証書/ユーザー登録のご案内

株式会社 河合楽器製作所

電 子 楽 器 事 業 部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

<https://www.kawai.jp/>

■ お問合せ先について

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆修理受付窓口

電子楽器コールセンター

TEL : 053-457-1295 / E-mail : denshi_callcenter@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

各エリアの修理受付窓口は弊社Webページよりご確認ください。

電話・FAX・インターネットでお問い合わせいただけます。

<https://www.kawai.jp/support/service/ep/repair/>



故障と思われる場合につきましては、お買い求めいただいた販売店、もしくは上記の修理受付窓口にお問い合わせください。
その他ご不明な点などございましたら、上記のお客様相談室にお問い合わせください。

